

平成26年度

# 事業報告書

社会福祉  
法人 中日新聞社会事業団

## はじめに

当法人は「社会福祉法人中日新聞社会事業団」と改称して、本年度で40年を迎えた。本部並びに北陸、東海、東京、岐阜の4支部及び児童福祉施設（所在地：愛知県日進市）の「中日青葉学園あおば館」、情緒障害児短期治療施設「中日青葉学園わかば館」の運営など幅広い活動を行っている。

当法人は「児童」「障がい者」「高齢者」などの諸分野の中で児童福祉施設を運営していることもあり、「児童」や「障がい者」の福祉関連事業が比較的多く、例えば研修、スポーツ関係などの支援を行っている。

また、「災害援護事業」の分野では、平成27年3月に発生から4年となった「東日本大震災」は、今もなお全国で約22万人の方が避難生活を余儀なくされている。引き続き東日本大震災義援金の受け付けを行うとともに、平成26年8月に行政の支援が行き届かない団体への支援として「東日本復興支援事業」を創設し、一回目の支援金贈呈も行った。

その一方で、超高齢社会を見据えた「高齢者」の生きがいと健康づくりを推進し、更には平成27年4月に施行される「生活困窮者自立支援法」により、「生活困窮者の支援」および社会福祉法改正の動きのある「地域における公益的活動」などの分野においては、時代に対応した幅広い事業を展開し、積極的に支援していくことが今後の課題である。

これらの事業を展開していくためには、資金（寄付）の確保が不可欠である。このところ減少傾向にある寄付金額を増加に転ずるために、当法人の活動の周知や寄付金の使途を明瞭にすることなどが求められている。

この場をお借りして、ご支援、ご協力をいただいている皆様方に感謝を申し上げ、今後、より一層のご理解を賜ることをお願いし、独自性を活かしながら皆様方のご期待に添うよう社会福祉法人としての社会的使命を果たしていく所存である。

平成27年5月  
社会福祉法人 中日新聞社会事業団

## 中日新聞社会事業団の沿革

社会福祉法人中日新聞社会事業団は、昭和12年4月設立の新愛知新聞社会事業団、翌年設立の名古屋新聞善行会から始まり、社団法人中部日本弘徳会を前身とし、社会福祉法人中部日本新聞社会事業団を経て、昭和49年に現在の名称となった。昭和32年の事業団創立20周年を機に虚弱児施設の建設を決め、昭和35年、愛知県日進市に「中日青葉学園」の運営を開始した。

現在、施設経営のほか、本部、北陸・東海・東京・岐阜の4支部において年間244件の主催、共催、後援事業を行っている。障害者や難病者の自立、社会参加への支援、生活保護家庭や施設入所児童の援助など地域福祉から災害地支援まで、幅広い社会貢献を行っている。

昭和18年 7月	新愛知新聞社会事業団と名古屋新聞善行会が合併し、社団法人中部日本弘徳会を設立
昭和22年 7月	社団法人「中部日本新聞社会事業団」を設立
昭和34年 1月	沢井秀次氏と日進町岩崎区から土地(13,034㎡)の寄付を受ける
昭和35年 4月	虚弱児施設中日青葉学園として児童定数30人、職員7人で事業開始
昭和35年 7月	社会福祉法人「中部日本新聞社会事業団」として厚生省から認可
昭和37年 1月	中日青葉学園を増築し、児童定数70人に増員
昭和49年 6月	社会福祉法人「中日新聞社会事業団」と改称
昭和54年12月	中日新聞社会事業団北陸支部(金沢市)を設立
昭和57年 3月	中日青葉学園は日本自転車振興会の補助と社会福祉・医療事業団から建設資金を借り入れ、全面改装
昭和58年11月	中日新聞社会事業団東海支部(浜松市)を設立
昭和59年12月	年末助け合い運動の一環として、美術品チャリティー販売の「第1回郷土の美術家100人展」を松坂屋本店で開催する
昭和63年 3月	中日新聞社会事業団東京支部(東京都千代田区)を設立
平成10年 4月	児童福祉法の改定により児童養護施設中日青葉学園となる
平成12年 5月	中日新聞社会事業団岐阜支部(岐阜市)を設立
平成12年 6月	「中日福祉ボランティア賞」(愛・三・岐対象)創設
平成14年10月	中国障害者芸術団を招聘し名古屋、岐阜、東京、札幌で7公演を行い、延べ13,000人を動員
平成15年10月	中日青葉学園の新園舎が竣工し、児童養護施設に情緒障害児短期治療施設を併設、複合施設として新たなスタート
平成18年 3月	日本自転車振興会からの補助で小・中学校青葉分校新教育棟新築
平成22年 4月	児童養護施設「中日青葉学園」創設50周年を迎える

### 〈主な災害義援金〉

☆阪神大震災義援金	平成7年1月18日～8月18日	84,104件	5,790,979,873円
☆東海豪雨災害義援金	平成12年9月24日～11月10日	2,209件	421,966,342円
☆新潟県中越地震義援金	平成16年10月25日～17年3月31日	7,865件	663,011,769円
☆新潟県中越沖地震義援金	平成19年7月17日～12月13日	1,490件	120,294,971円
☆中国・四川大地震義援金	平成20年5月14日～9月8日	1,569件	101,708,939円
☆東日本大震災義援金	平成23年3月12日～27年3月31日	92,518件	8,977,433,801円
☆伊豆大島豪雨災害義援金	平成25年10月18日～26年5月20日	272件	7,702,259円
☆フィリピン台風災害義援金	平成25年11月12日～26年3月7日	623件	24,019,977円
☆広島土砂災害義援金	平成26年8月22日～12月26日	802件	30,668,185円

## 事業件数

	主 催	共 催	後 援	合 計
本 部	5	19	132	156
北 陸 支 部	6	1	8	15
東 海 支 部	8	0	10	18
東 京 支 部	3	0	6	9
岐 阜 支 部	7	6	32	45
合 計	29	26	188	243

## 寄付金収入一覧

(単位：円)

	本 部		北 陸 支 部		東 海 支 部		東 京 支 部		岐 阜 支 部		合 計	
一 般 寄 付 金	408	88,127,420	96	1,137,456	27	782,569	7	195,257	44	2,234,471	582	91,694,604
年 末 助 け 合 い	206	19,595,759	25	559,790	64	2,549,826	23	470,800	53	2,144,224	371	22,770,573
指 定 寄 付 金	149	25,325,178	16	127,000	13	532,690	92	1,295,180	61	3,524,644	331	30,272,002
災 害 義 援 金	1,303	58,829,824	59	1,621,804	151	6,863,268	514	9,317,818	180	5,055,154	2,207	74,824,600
合 計	2,066	191,878,181	196	3,446,050	255	10,728,353	636	11,279,055	338	12,958,493	3,491	219,561,779

## 主な災害義援金と指定寄付金

### 東日本大震災義援金

(平成23年3月12日～平成27年3月31日)

	件数	金額(円)
本 部	62,959	7,430,646,161
北 陸 支 部	1,831	80,406,475
東 海 支 部	5,909	486,134,951
東 京 支 部	6,896	182,048,635
岐 阜 支 部	14,923	798,197,579
合 計	92,518	8,977,433,801

### 広島土砂災害義援金

(平成26年8月22日～12月26日)

	件数	金額(円)
本 部	445	23,082,652
北 陸 支 部	21	468,862
東 海 支 部	54	2,866,353
東 京 支 部	213	2,500,852
岐 阜 支 部	69	1,749,466
合 計	802	30,668,185

※震災翌日からの合計金額

### 東日本復興支援金

(平成26年8月11日～平成27年3月31日)

	件数	金額(円)
本 部	67	12,805,169
北 陸 支 部	0	0
東 海 支 部	2	35,530
東 京 支 部	24	262,180
岐 阜 支 部	37	1,575,789
合 計	130	14,678,668

## 本部(名古屋)

社会事業団本部では、各支部と緊密な連絡をとりながら、スムーズな運営に取り組んできた。また、中日新聞名古屋本社と連携し、平成26年度は156件に及ぶ福祉事業を主催・共催・後援をし、地域に密着した取り組みを行った。

### ◇心身障がい児・者福祉事業

#### (1) 障がい者福祉事業への支援

平成18年4月から施行された障害者自立支援法(現 障害者総合支援法)によって、障がい者の自立や社会参加などがますます重要になっている。地域社会が障がい者の福祉の増進、理解および交流を深めるため、障がい者団体などが主催する文化、スポーツ、講演会、シンポジウム、研修事業などに対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

#### (2) 第52回特別支援教育展「きらめき展」(2月17日～22日・名古屋市博物館)

障害児教育への理解と認識を深めてもらうことを目的として開催。今回は「明日への一步 夢への一步」をテーマに名古屋市内の特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室など約300校で学んでいる児童・生徒らの個性あふれる作品約3,000点を展示した。



展示作品に見入る来場者<sup>(\*1)</sup>

共催：名古屋市教育委員会、  
同特別支援教育研究協議会

#### (3) 第19回長良川ふれあいマラソン大会(10月5日・木曽三川公園)



小雨の降る中力走する参加者<sup>(\*2)</sup>

障がい者と健常者が共に参加し、ふれあいを図ることで、障がい者福祉についての関心を深めるマラソン大会を実施した。台風が接近する中、愛知、三重、岐阜の各県を中心に北陸、関東地区などから約1,000人が参加した。

共催：長良川ふれあいマラソン実行委員会  
連携：岐阜支部

## ◇児童福祉・母子福祉事業

### (1) 児童福祉施設等支援事業

愛知県児童福祉施設長会や名古屋市児童養護連絡協議会などが主催する文化、スポーツ事業(音楽の集い、運動会など)に対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

#### ・第64回児童園遊会(5月6日・東山動植物園)

児童福祉週間事業の一つとして、名古屋市内の生活保護受給世帯、母子生活支援施設等入所世帯、宿所提供施設の入所世帯の小学校1年生から3年生の児童と保護者の223世帯を招待した。

共催：名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

#### ・第57回福祉施設「海の家」(7月22日～30日・篠島海水浴場＝南知多町)

心身の健やかな発達を促進することを目的に、名古屋市内の児童福祉施設、知的障害者援護施設の入所児童を招待する事業を支援した。23施設延べ735人の児童が参加した。

主催：名古屋市、名古屋市児童養護連絡協議会

#### ・第12回スキー村(1月17日～18日・伊那スキーリゾート＝長野県)

児童同士の交流を図ることを目的に、愛知県内の児童福祉施設に入所の中学1、2年生を対象に1泊2日でスキー体験事業を開催した。

9施設36人の児童が参加した。

共催：愛知県児童福祉施設長会、  
名古屋市児童養護連絡協議会



スキーを楽しむ子ども達(\*3)

#### ・母子寡婦福祉大会「中日賞」贈呈(愛知・岐阜・三重各県)

母子福祉向上を目指す母子寡婦福祉大会において、他の模範となる優良母子家庭の表彰として「中日賞」を岐阜(7月7日・岐阜市民会館)、三重(10月5日・鈴鹿市文化会館)、愛知(11月2日・ウィルあいち)、各県2名、計6名に贈呈した。



愛知県の受賞者(\*4)

## (2) 交通遺児支援事業

「交通遺児のために役立てて」と個人や企業から寄せられた寄付金をもとに、交通事故で親を亡くした子ども達を励ますために行う支援事業。東海交通遺児を励ます会が把握している遺児は東海三県で約500人。



これまでの体験をつづった作文を披露する交通遺児ら<sup>(\*5)</sup>

7月：大相撲名古屋場所に招待

8月：サマーカヌーキャンプ

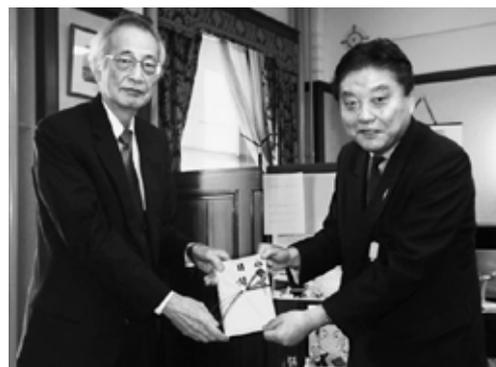
(滋賀県近江八幡市)

12月：交通遺児を励ます大会

3月：中学を卒業する交通遺児を励ます集い

## (3) 第36回生活保護家庭の小中学生に「お年玉」を贈呈

12月下旬に愛知、岐阜、三重の各県と名古屋市に在住する生活保護家庭の小・中学生合わせて6,823人に、各県市の福祉事務所を通じて「お年玉」(小学生1,000円、中学生2,000円)を贈呈した。(昭和54年から継続)



目録を受け取る河村たかし名古屋市長<sup>(\*6)</sup>

	小学生		中学生		合計	
	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)	合計数(人)	合計金額(円)
愛知県	1,279	1,279,000	778	1,556,000	2,057	2,835,000
岐阜県	310	310,000	191	382,000	501	692,000
三重県	749	749,000	461	922,000	1,210	1,671,000
名古屋市	1,937	1,937,000	1,118	2,236,000	3,055	4,173,000
合計	4,275	4,275,000	2,548	5,096,000	6,823	9,371,000

## ◇高齢者福祉事業

### (1) 第11回名古屋市老人福祉施設作品展(11月12日～16日・名古屋市民ギャラリー矢田)

名古屋市内の約140の老人福祉施設を利用しているお年寄りが趣味で制作した絵画、書、手芸作品など約3,000点を展示した。手作り体験コーナーや介護相談、福祉講演会などの事業も合わせて行い、会期中に延べ約6,000人が観覧した。

共催：名古屋市老人福祉施設協議会ほか

### (2) 第25回長寿社会公開講座&フォーラム

健康で多様な生き方を選択し、かつどのようにしたら個性を発揮できるのかを探ることを目的に、「肺炎予防」「認知症予防と回想法」の公開講座と東海旅客鉄道(株)相談役の須田寛さんの講演会を開催した。公開講座(1月24、31日・日本福祉大学名古屋キャンパス)、フォーラム(2月27日・愛知医科大学たちばなホール)。

共催：日本福祉大学、愛知医科大学、東海テレビ福祉文化事業団

## ◇福祉団体への助成

### (1) 第58回東海地区特別支援教育振興資金贈呈(6月24日・中日新聞名古屋本社)



心身障害児や高機能自閉症児、学習障がい(LD)児らの教育研究、実践、啓発活動を行っている愛知、岐阜、三重、静岡の各県と名古屋市の5つの特別支援教育研究団体に研究助成金として1団体20万円を贈呈した。

特別支援教育研究5団体への贈呈<sup>(\*7)</sup>

## (2) 第43回難病者激励金贈呈

成田山名古屋別院大聖寺（犬山市）と同信徒団体「索（なわ）の会」から寄託された激励金（2,813,929円）を計18の難病者団体に贈呈した。愛知県8団体（6月6日）、岐阜県5団体（6月13日）、三重県5団体（6月20日）。



愛知県8団体への贈呈<sup>(\*8)</sup>

県名	団体名
愛知県	NPO法人愛知県難病団体連合会
	愛知あゆみの会 (愛知注射による筋短縮症の会)
	愛知県肝友会
	一般社団法人 愛知県腎臓病協議会
	全国筋無力症友の会愛知支部
	進行性核上性麻痺の患者・家族の会
	日本二分脊椎症協会東海支部
岐阜県	再生つばさの会西日本支部 (再生不良性貧血)
	NPO岐阜県腎臓病協議会 (岐腎協)
	岐阜県心臓病児者の会 (岐心会)
	岐阜県病弱児を守る会
	ぎふ低肺機能者グループ
三重県	日本リウマチ友の会岐阜県支部
	NPO法人三重難病連
	全国膠原病友の会三重県支部
	日本網膜色素変性症協会 三重支部
	三重後縦靭帯骨化症患者友の会
日本二分脊椎症協会三重支部	

## ◇資金造成事業

### (1) 年末助け合い運動（11月25日～12月26日）

生活保護家庭の小・中学生へお年玉を贈呈するための資金造成事業として実施した。寄せられた温かい善意は206件、19,595,759円に達した。

## (2) 年末助け合いチャリティー「第31回郷土の美術家100人展」

(12月9日～10日・松坂屋名古屋店南館 マツザカヤホール)

東海三県下で活躍する日本画、洋画、工芸、書の各部門の実力作家や、この地方にゆかりのある人気作家の最新作をチャリティー特別価格で販売した。また、昨年度に引き続き相国寺管長や清水寺貫主などの墨蹟部門も設けた。多くの美術愛好家にご購入いただき、収益金は地域の社会福祉のために役立っている



作品について語る森村宜高さん<sup>(\*9)</sup>

### ◇援護事業

#### (1) 東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対し、翌日の12日から義援金の受け付けを行い、本部に寄せられた義援金は、平成27年3月31日現在で62,959件、7,430,646,161円となった。他支部に寄せられた義援金と合わせて8,973,822,096円を各県に贈った。宮城(12回：4,731,625,000円)、岩手(12回：2,307,875,000円)、福島(11回：1,731,322,096円)、千葉(1回：1億円)、茨城(2回：103,000,000円)。

#### (2) 広島土砂災害義援金

平成26年8月に発生した台風11、12号の影響で広島市を襲った集中豪雨による土砂災害に対し、本部に寄せられた義援金は445件、23,082,652円となった。他支部から寄せられた義援金と合わせて総額30,668,185円を広島市に贈った。

#### (3) 東日本復興支援金

行政の支援の行き届かない東日本大震災被災地支援団体などを支援する「東日本復興支援金」を8月に創設し、有識者による第三者配分委員会で配分先を決定。第1回の配分として3月2日に福島県の団体「たまきはる福島基金」「NPO法人アクセスホームさくら(指定障害福祉サービス 就労継続支援B型)」に届けた。今後は順次被災地東北各県の団体に贈る。

# 善意の風 福島へ

## 本社社会事業団 支援事業 配分金贈呈

中日新聞社会事業団は二日、福島県二本松市内で「東日本復興支援事業」の初めての配分金贈呈式を開いた。同事業は行政ではカバーできない被災者、団体に助成し、被災地の復興を支援するのが狙いで、昨年八月から募集している。事業団の坂井克彦理事長「写真」が「ふくしま原発避難子供・若者支援機構」（愛称・たまきはる福島基金）の玄侑宗久理事長「同」とNPO法人「アクセスホームさくら」の渡辺幸江理事長「同」に各百五十万円の目録を手渡し「たまきはる基金に」と寄せられた百万円も合わせて贈った。



地方から温かい風を感じました。中日新聞で連載していますが、縁を感じています。基金は、最初は五年と言っていたが、それで終わりそうにありません」と感謝した。アクセスホームは震災前は福島県浪江町にあったが、二〇一一年八月から二本松市で事業を再開。現在は十七人の障害者が利用している。

このほか社会事業団にはこれまで東日本大震災義援金として九十億円近い寄付があり被災地の自治体に計八十九億四千六百八十二万二千九十六円を贈った。

### 支援金、基金を募集

中日新聞社会事業団は、「東日本復興支援事業」「たまきはる福島基金」への善意の募集をしています。

◇受け付け ▽中日新聞社会事業団事務局〒4608511名古屋市中区三の丸1の6の1、問い合わせ 電052(221)0580▽同岐阜支部(岐阜県在住者)〒5008875岐阜市柳ヶ瀬通1の12、岐阜中日ビル6階、電058(265)0283  
◇郵便振替 ▽中日新聞社会事業団0083018153808▽同岐阜支部0082010128516。通信欄に「復興支援」または「たまきはる」と明記。

(\*10)

## ◇その他

### ・第6回福祉の星フォーラム（9月29日・ナディアパーク デザインホール）

「福祉」のイメージアップと福祉人材の確保を目指し、講演会と現場で働く若者らによるシンポジウムを開催した。「私のサーカス人生～人と人との交流～」と題して木下サーカス社長・木下唯志さんが講演し、日本福祉大学中央福祉専任教員・渡辺哲雄さんをコーディネーターに迎えディスカッションを行った。約100人が参加し、交流も深めた。

共催：愛知県社会福祉協議会、NHK厚生文化事業団

### 写真引用

\* 1)2015年2月19日、\* 2)2014年10月6日、\* 3)2015年1月18日、\* 4)2014年11月3日、\* 5)2014年12月25日、\* 6)2014年12月26日、\* 7)2014年6月25日、\* 8)2014年6月7日、\* 9)2014年12月9日、\* 10)2015年3月3日  
いずれも中日新聞 朝刊

# 事業一覧

(本部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/1~3/31	中日青葉学園ボランティア「あおば友の会」助成	共催	中日青葉学園	中日青葉学園(日進市)
4/13	第34回愛知県聴覚障害者体育大会	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会	昭和スポーツセンターほか
4/20	第4回ジョギング・フェスティバル	後援	(公財)スペシャルオリンピックス日本・愛知	瑞穂公園田辺陸上競技場ほか
4/20~5/25	平成26年度愛知県障害者スポーツ大会	後援	(福)愛知県社会福祉協議会ほか	星ヶ丘ボウルほか
4/20	チャリティーマラソンin庄内緑地 介助犬の活動を応援しよう	後援	名古屋栄ライオンズクラブ	庄内緑地公園内周回コース
4/20	名古屋手をつなぐ育成会青年教室	共催	(福)名古屋手をつなぐ育成会	手をつなぐ育成会福祉会館ほか
4/26	愛重連主催シンポジウム 誰でも暮らせるまちづくりを目指して…	後援	愛知県重度障害者団体連絡協議会	半田市市民交流センターホール
4/27	第6回豊田通商・あいおいニッセイ同和損保カップ 東海車椅子ツインバスケットボール刈谷大会	後援	東海車椅子ツインバスケットボール委員会	ウイングアリーナ刈谷
4/29	'14チャリティー芸能まつり	後援	'14チャリティー芸能まつり実行委員会	愛知県芸術劇場大ホール
5/3	第40回中日本グランドソフトボール愛知大会	後援	中日本グランドソフトボール連盟	愛知県一宮総合運動場
5/6	第64回児童園遊会	共催	名古屋市、(福)名古屋市社会福祉協議会	東山動植物園
5/8~11/23	第11回名古屋市障害者スポーツ大会	後援	名古屋市ほか	名古屋市瑞穂公園陸上競技場 ほか
5/17	第35回名古屋市聴覚障害者親睦ソフトボール大会	後援	名古屋市聴覚障害者協議会	名古屋市志段味スポーツランド 少年野球場
5/17	精神障害者家族会役員及び家族ピア相談員の 相談支援力向上	後援	名古屋市精神障害者家族会連合会	健身会館
5/18	第51回日本リウマチ友の会愛知支部大会	後援	(社)日本リウマチ友の会愛知支部	ウインクあいち5階小ホール
5/23~25	第17回国際福祉健康産業展~ウェルフェア2014~	後援	名古屋市国際見本市委員会ほか	ポートメッセなごや
5/24~25	第14回全国障害者スポーツ大会 車椅子バスケットボール競技北信越東海地区予選大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	可美総合センター (静岡県浜松市)
5/25	第28回わだちまつり	後援	わだちまつり実行委員会、AJU自立の家 後援会	AJU自立の家サマリアハウス
5/26	CAPNA市民講座 講演会「子どもたちの未来のために」	後援	NPO法人CAPNA	アートピアホール
5/31	第20回日本電動車椅子サッカー選手権 中部ブロック予選大会	後援	中部ブロック電動車椅子サッカー協会	名古屋市東スポーツセンター
5/31~2/15	赤十字幼児安全法支援員養成講習	後援	日本赤十字社愛知県支部	日本赤十字社愛知県支部
6/3~3/13	平成26年度面接教育相談事業	後援	(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団	愛知県教育会館ほか
6/3~3/15	赤十字健康生活支援講習支援員養成講習会	後援	日本赤十字愛知県支部	日本赤十字愛知県支部ほか
6/6、13、20	平成26年成田山難病者激励金贈呈式	主催 (岐阜支部協力)	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社本社、岐阜支社、 三重総局
6/7	地域福祉セミナー	後援	地域福祉セミナー実行委員会	名古屋高齢者就業支援 センター大会議室
6/7~8	平成26年度東海・北陸ブロック里親研究大会	後援	(公財)全国里親会ほか	蒲郡温泉ホテル竹島
6/7~22	第18回サウンドテーブルテニスはなのき杯卓球大会	後援	愛知S.T.Tクラブ連盟	福祉の村友愛の家体育館 (岡崎市)
6/8	第38回記念藤栄会チャリティー民謡発表会	後援	民謡藤栄会	愛知県芸術劇場
6/8、2/8	福祉レクリエーション講習会	共催	愛知県レクリエーション協会	愛知県教育会館

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
6/14	第50回重度在宅児・者研修旅行	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	浜名湖バルバルほか
6/15	平成26年度全国膠原病友の会愛知県支部総会と医療講演会	後援	全国膠原病友の会愛知県支部	名古屋市総合社会福祉会館7階
6/15、 12/20、2/2	避難所生活を乗り切る！災害時の豆知識	後援	日本赤十字愛知県支部	日本赤十字愛知県支部ほか
6/15～10/5	平成26年度地域レクリエーション教室(療育キャンプ)	後援	(財)三重県知的障害者育成会	小牧市ほか
6/24	平成26年度東海地区特別支援教育振興資金贈呈式	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社第2会議室
6/28～29	第43回全国児童養護研究会全国大会(愛知大会)	後援	全国児童養護問題研究会	ウイंकあいち
7～12月	第28回ふれあいフォトコンクール	後援	(福)愛知県社会福祉協議会	愛知県社会福祉協議会
7/5～6	D-NUGGETS CUP 2014全国ジュニア選抜車椅子バスケットボール大会in愛知	後援	東海北陸ブロック車椅子バスケットボール連盟ほか	名古屋市稲永スポーツセンター
7/6	第31回愛知県聴覚障害者大会	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会	安城市文化センター
7/6	愛知県肝友会 第33回定時総会記念講演会	後援	愛知県肝友会	名古屋市総合社会福祉会館7階大会議室
7/7	平成26年度岐阜県母子寡婦福祉大会	後援	(一財)岐阜県母子寡婦福祉連合会	岐阜市民会館
7/11～13	第14回陶工房鳴海作陶展 第12回チャリティーバザー	後援	陶工房鳴海、東海丸二陶芸	東桜会館
7/12～3/21	チャレンジ！家庭で役立つ介護技術	後援	日本赤十字愛知県支部	日本赤十字愛知県支部ほか
7/12～11/3	第14回全国障害者芸術・文化際とっとり大会	後援	厚生労働省、鳥取県、鳥取市	とりぎん文化会館ほか(鳥取県)
7/13	第50回名肢体登山大会	後援	名古屋市肢体障害者福祉連合会	岐阜県乗鞍岳
7/14	第31回東海地区盲学校陸上競技大会	後援	東海地区盲学校体育連盟	名古屋市瑞穂公園陸上競技場
7/18、8/26、 10/3、14	平成26年度赤十字健康教室	後援	日本赤十字社愛知県支部、名古屋第二赤十字病院	名古屋第二赤十字病院3病棟1階研修ホール
7/19	第7回まいまい狂言会	後援	まいまい狂言会	名古屋能楽堂
7/19～20	平成26年度療育キャンプ	後援	愛知県知的障害者育成会	光風閣くわるび(山梨県)
7/20～9/19	平成26年度高校生ボランティア活動並びに体験文募集	後援	(福)中部善意銀行	愛知県下の社会福祉施設
7/21	地域福祉セミナー	後援	地域福祉セミナー実行委員会	名古屋高齢者就業支援センター大会議室
7/22～30	第57回福祉施設「海の家」	後援	名古屋市児童養護連絡協議会ほか	篠島海水浴場
7/26	子どもセンター「パオ」8周年イベント 新生びあかもみーる開設	後援	NPO法人子どもセンター「パオ」	名古屋市女性会館
7/26～27	2014愛知県車いすテニス大会inNAGOYA (第52回東海車いすテニス大会)	後援	愛知県車いすテニス協会ほか	名古屋市東山公園テニスセンター
7/27	第14回アートセラピーを学ぼう 講演・一日体験	後援	アートセラピー研究会、日本描画テスト・描画療法学会	中京大学名古屋キャンパス
7/31～8/2	サマーカヌースクール	後援	(公財)東海交通遺児を励ます会	休暇村近江八幡
8/3	平成26年度東海北陸車椅子バスケットボール定期前期三重大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	安濃中央公園内体育館
8/4、4/27 ～28	第23回AICHI高校生交流会	共催	愛知県児童福祉施設長会、AICHI高校生交流会	継鹿尾観音寂光院(犬山市)ほか
8/8	第56回名古屋市立小中学校特別支援学級・特別支援学校連合運動会	共催	名古屋市特別支援教育研究協議会ほか	日本ガイシホール
8/9～11	第46回親子なかよしキャンプ	後援	愛知県自閉症協会	乙女溪谷キャンプ場(岐阜県)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
8/15~19	第41回東海地区小児糖尿病サマーキャンプ	後援	東海地区小児糖尿病サマーキャンプ研究会	四日市市少年自然の家
8/17~23	第29回中部ブロック動作法セミナー	後援	三重県心理リハビリテーション連合会	三重県立鈴鹿青少年センター
8/18	平成26年度愛知県児童福祉施設入所児童ソフトボール大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	幸田町とばねグラウンド
8/18~23	第42回愛知心理療育キャンプ	後援	愛知心理療育親の会	ホテルボンセジュール(蒲州市)
8/20	平成26年度愛知県児童福祉施設入所児童卓球大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	日進市スポーツセンター
8/24~11/25	平成26年度青少年の自立支援事業「トライアルキャンプ2014」	後援	(公財)愛知県教育・スポーツ財団	愛知県教育会館ほか
8/24	優利民謡会第32回チャリティー民謡発表会	後援	優利民謡会	日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
8/24	第14回土井貴紅子チャリティーコンサート	後援	セント・ポーリアの会	名古屋市千種文化小劇場
8/24	第32回昭和区の福祉まつり	後援	昭和区の福祉まつり実行委員会	昭和区役所講堂
8/31~1/25	赤十字救急法短期講習	後援	日本赤十字社愛知県支部	日本赤十字社愛知県支部ほか
8/31	平成26年度愛盲文芸大会	後援	(福)愛知県盲人福祉連合会	豊橋市明生会館
9/3~10/29	第19回愛知県老人福祉施設職員野球大会	後援	愛知県老人福祉施設協議会	小牧市民球場
9/4~5	2014年度南障会一泊研修旅行	後援	南区障害者関係団体連絡会	鳥羽扇芳閣(三重県)
9/7	平成26年度東海北陸車椅子バスケットボール定期前期岡崎大会	後援	東海北陸ブロック車椅子バスケットボール連盟	岡崎市中央総合体育館武道場
9/10~12/10	第62回「手足の不自由な子どもを育てる運動」	後援	愛知県肢体不自由児協会	愛知県内の市町村、学校、 事業所、福祉団体
9/13~15	第15回全日本グランドソフトボール選手権大会	後援	全日本グランドソフトボール連盟	愛知県一宮総合運動場
9/14	第57回自然に親しむ集い	後援	名古屋市視覚障害者協会	九頭竜湖ほか(福井県)
9/14	第3回知的障がい者ボウリング大会	後援	三重県知的障がい者ボウリング協会	サンボウル(三重県伊賀市)
9/14	第32回名古屋障害者青年学級合同運動会	後援	名古屋障害者青年学級協議会	中村スポーツセンター
9/23	第26回東海障害者バドミントン選手権大会	後援	東海障害者バドミントン連盟	名古屋市障害者スポーツ センター体育館
9/28	第24回中部ブロック電動車椅子サッカー定期大会	後援	中部ブロック電動車椅子サッカー協会	静岡市中央体育館
9/29	平成26年度福祉の星フォーラム	共催	愛知県社会福祉協議会ほか	ナディアパーク デザイン ホール3階
9/30~10/5	第7回ふれいあアート展	後援	(一社)愛知県知的障害児者生活サポート 協会	電気文化会館
9/30~10/7	第66回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール	後援	愛知県共同募金会ほか	NHK名古屋放送局センター ビル1階
10/1~3	アトムのバイオヘルスセミナー	後援	名古屋醫新の会	鬼岩温泉いわみ亭(岐阜県)
10/5	第19回長良川ふれあいマラソン大会	共催 (岐阜支部連携)	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会 ほか	木曾三川公園特設会場
10/5	平成26年度三重県母子寡婦福祉大会	後援	(一財)三重県母子寡婦福祉連合会	鈴鹿市文化会館けやきホール
10/8	第70回ボランティアスクール	共催	(福)あさみどりの会	さわらび園研修室
10/8	東海レディス・プラザ第42回チャリティーバザー	後援	東海レディス・プラザ	ダイテックSAKAE 6階 クリエイトホール
10/11	第26年度第61回児童福祉施設運動会	後援	名古屋市、名古屋市児童養護連絡協議会 ほか	瑞穂公園レクリエーション広場

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
10/12	第38回'14愛のフェスティバル	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋手をつなぐ育成会 福祉会館・ひろば
10/16	第1回障害者チャリティーゴルフ	後援	名古屋福祉支援チャリティーゴルフ	東名古屋カントリークラブ (豊田市)
10/18	生き生き長寿フェア2014「はつらつ健康プラザ」	後援	愛知県、(福)愛知県社会福祉協議会	あいち健康の森公園(大府市)
10/21	第62回愛知県社会福祉大会	後援	(福)愛知県社会福祉協議会ほか	愛知県体育館
10/26	第13回車いすテニス岩倉大会	後援	愛知県車いすテニス協会ほか	岩倉市野寄テニスコート
11/1	脳外傷リハビリテーション講習会	後援	脳外傷リハビリテーション講習会 実行委員会ほか	名古屋市中区役所ホール
11/2	全国重症心身障がい児デイサービス・ネットワーク 設立総会&基調講演・分科会	後援	(一社)全国重度心身障がい児 デイサービス・ネットワーク	名古屋都市センター14階
11/2	平成26年度愛知県母子寡婦福祉大会	後援	(福)愛知県母子寡婦福祉連合会	ウィルあいち
11/2	エンターテイメントサーカス2014	後援	エンターテイメントサーカス実行委員会	ボトムライン
11/3	第29回住友生命保険 全国縦断チャリティーコンサート	後援	住友生命保険相互会社 愛知東支社	幸田町民会館さくらホール
11/3	2014多治見修道院ワインフェスタ(第11回)	共催	(福)AJU自立の家ピア名古屋	神言会多治見修道院
11/3	愛知県難病団体連合会第42回定期大会	後援	NPO法人愛知県難病団体連合会	ウインクあいち
11/9	第60回東海車椅子ツインバスケットボール 定期大会岐阜大会	後援	東海車椅子ツインバスケットボール委員会	岐阜メモリアルセンター 「で愛ドーム・ふれ愛ドーム」
11/12~16	第11回名古屋市老人福祉施設作品展	共催	名古屋市老人福祉施設協議会ほか	名古屋市民ギャラリー矢田
11/13~14	平成26年度甲州東海ブロック家族会 精神保健福祉促進研修会愛知大会	後援	愛知県精神保健障害者家族会連合会ほか	蒲郡市民会館
11/15~16	全国重症心身障害児(者)を守る会 第26回東海・北陸ブロック大会	後援	愛知県重症心身障害児(者)を守る会ほか	愛知県産業労働センター ウインクあいち
11/16	第13回あいち障害者フライングディスク競技大会	共催	あいち障害者フライングディスク協会	愛知県体育館
11/16	第47回愛知県視覚障害者福祉大会	後援	(福)愛知県盲人福祉連合会	豊田市福祉センター
11/18~22	現代高僧・名僧直筆大墨蹟展 「心に響くことば」チャリティー特別展示会	後援	NPO法人夢・同人	メニコンANNEXギャラリー MEN10
11/22	虹の架け橋～療育者を支援する里親・家族養護の会～ 定期講演会	共催	虹の架け橋 ～療育者を支援する里親・家族養護の会～	中日新聞社名古屋本社
11/23	愛知県児童福祉施設長会 第36回音楽の集い 「長久手大会」	後援	愛知県児童福祉施設長会、 (福)愛知県社会福祉協議会	長久手市文化の家森のホール
11/23	第53回東海車いすテニス大会in鈴鹿	後援	三重県車いすテニス協会	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿
11/24	第52回愛知県子ども会大会	後援	愛知県子ども会連絡協議会ほか	ウィルあいち
11/24	第59回名古屋市身体障害者福祉大会	後援	(福)名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市中区役所ホール
11/25~12/26	平成26年度「年末助け合い運動」	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	中日新聞社会事業団事務局、 支社、総・支局、通信部・局
11/29	第16回愛知県老人福祉施設職員ボウリング大会	後援	愛知県老人福祉施設協議会	知立イーグルボウル
11/29	ボランティアフェスティバル2014	後援	ボランティアフェスティバル2014実行委員会 ほか	さわらび園
11/30	第11回なごや手話フェスティバル	後援	名古屋聴言障害者協会	名古屋市北文化小劇場
12/6	第32回愛知県心身障害児(者)福祉大会	後援	愛知県心身障害児(者)福祉団体連絡協議会 ほか	愛知県社会福祉会館
12/6	ジュディ・ヒューマン氏講演会 障害をもつアメリカ人法(ADA法)が果たした役割	後援	愛知障害フォーラム(ADF)ほか	アイリス愛知 大会議室コスモス

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
12/9~10	中日新聞年末助け合いチャリティー 第31回「郷土の美術家100人展」	主催	中日新聞社、(福)中日新聞社会事業団	松坂屋名古屋店南館8階 マツザカヤホール
12/9~14	犯罪被害者支援広報イベント～被害者に愛の手を～ 被害者支援チャリティー作品展	後援	(公財)被害者サポートセンターほか	栄サンシティギャラリーおよび 1階フロア
12/10~13	第19回中部善意銀行～年末たすけあい～ 愛のチャリティーバザー	後援	(福)中部善意銀行	名鉄百貨店本店本館10階 クローバーサロン
12/13~15	アトムのバイオヘルスセミナー(名古屋)	後援	名古屋醫新の会	なごやか健康スタジオ
12/13~14	第12回尾西作家協会展チャリティー展	後援	尾西作家協会	一宮市三岸節子記念美術館
12/13~14	第24回日本障害者バドミントン選手権大会・名古屋	後援	日本障害者バドミントン協会	稲永スポーツセンター
12/21	第54回愛知県身体障害者福祉大会	後援	(一社)愛知県身体障害者福祉団体連合会 ほか	ライフサポートとよはし
12/23	名古屋少年少女合唱団が贈る チャリティークリスマスコンサート	後援	三井住友海上しらかわホール	三井住友海上しらかわホール
12/23	第48回交通遺児を励ます大会	後援	(公財)東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
12/23	2014中日青葉学園招待スケート教室	共催	名古屋スポーツセンター	名古屋スポーツセンター
12/25	日本特殊陶業(株)クリスマスプレゼント 「7ひきとこやぎと狼」	後援	日本特殊陶業(株)	日本特殊陶業市民会館 フォレストホール
12/25	平成26年度第5回愛知県児童福祉施設入所児童 フットサル大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	テバオーシャンズアリーナ
1/13	「愛の音」プロジェクト	後援	AZON entertainment	県内児童養護施設ほか
1/16~3/19	少年院成人式、卒業式での記念品贈呈	後援	名古屋少年友の会	愛知少年院、瀬戸少年院、 豊乃岡学園
1/17~18	平成26年度第12回スキー村	共催	愛知県児童福祉施設長会	伊那スキーリゾート(長野県)
1/17~30	第7回 2015新春チャリティーこども作品展	後援	㈱川口春霞堂	中日画廊
1/22~27	第38回世界の貨幣まつり	後援	日本貨幣商協同組合	丸栄8階大催事場
1/24、31	平成26年度「第25回長寿社会公開講座」	共催	日本福祉大学、愛知医科大学ほか	日本福祉大学名古屋キャンパス
1/25	15周年記念コンサート～てをつなごう～	後援	少年少女合唱団 地球組	日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
2/1	平成26年度第29回愛知県児童福祉施設 親善マラソン大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	新城総合運動公園競技場 および周辺道路
2/1	NHKハートフォーラム名古屋市発達障害者支援 センターりんくす名古屋講演会	後援	名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋ほか	ウイנקいあいち 大ホール
2/3~8	第49回名古屋市障害者作品展展示会	後援	名古屋市、(福)名古屋身体障害者福祉 連合会	名古屋市博物館
2/17~22	第52回特別支援教育展「きらめき展」	共催	名古屋市特別支援教育協議会	名古屋市博物館
2/20~22	第48回(平成26年度)全国子ども会育成中央会議・ 研究大会	後援	(公財)全国子ども会連合会ほか	名古屋市中区役所ホール、 名古屋東急ホテル
2/22	第30回名古屋手をつなぐ育成会交流スポーツ大会	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市昭和スポーツ センター
2/24~3/19	第35回障害者作品即売会「福祉の店」	後援	(社)愛知県セルフセンターほか	イオンモールナゴヤドーム前 店ほか
2/26	第29回住友生命全国縦断チャリティーコンサート	後援	住友生命保険相互会社 名古屋支社	愛知県芸術劇場コンサート ホール
2/27	平成26年度「第25回長寿社会フォーラム」	共催	日本福祉大学、愛知医科大学ほか	愛知医科大学たちばなホール
3/4~10	中日新聞社会事業団 「春の絵画・工芸品チャリティー販売会」	共催	㈱名古屋三越栄店	名古屋三越栄店7階 特別画廊
3/7~8	内閣総理大臣杯争奪第43回日本車椅子バスケット ボール選手権大会東海北陸地区予選愛知大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	名古屋市中村区スポーツ センター

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
3/8	第33回耳の日記念聴覚障害者と県民のつどい	後援	(一社)愛知県聴覚障害者協会ほか	北名古屋市勤労文化会館
3/8	第21回全日本選抜フロアバレーボール愛知大会	後援	愛知県フロアバレーボール協会	愛知県体育館
3/10~15	知的な障害のある人の作品展 第3回「アートi」展	後援	(福)名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市民ギャラリー矢田 第2・3展示室
3/14	第11回ヒマラヤ・ヤングリーグ東海東西支部主催 ドラゴンズOBチャリティー野球教室	後援	ヤングリーグ東海東・西支部、(株)ヒマラヤ	稲沢市民球場
3/21	第13回日本ブラインドテニス中部日本大会	後援	日本ブラインドテニス連盟中部地域協会	名東スポーツセンターほか
3/21	青葉学園卒業祝い	主催	中日青葉学園、(福)中日新聞社会事業団	中日青葉学園(日進市)
3/22	第44回中学を卒業する交通遺児を励ます集い	後援	(公財)東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル

## 北陸支部

本部や中日新聞北陸本社と緊密な連携をとりながら北陸三県下の関係機関、団体などの協力を得て平成26年度の事業を推進した。

### ◇大井中日就学(職)支援 (3月9日～31日・石川県下児童養護施設)

七尾市の中高生の就学を支援してきた「大井中日奨学福祉財団」の解散に伴い、平成24年3月に引き継いだ残余財産を、趣旨及び継続を考慮した「大井中日就学・就職支援金」として今年度も実施した。

今年は県内にある児童養護施設7施設で暮らす中学校の卒業生に贈呈。今春高校に進学、就職する子どもたち21人に新生活の準備に役立ててもらった。

※「大井中日奨学福祉財団」(事務局：七尾市社会福祉協議会)は1985年(昭和60年)に七尾市和倉温泉で旅館経営をしていた大井安次夫妻(当初は社会事業団への寄託)、88年には息子の大井昭平夫妻から地域の児童福祉にと寄託された寄付金を基に、長年七尾市の中高生の就学を支援してきたが、昨今の景気低迷で事業運営が困難になり解散した。(2012年の理事会で解散決議。2013年残余財産処分許可、中日新聞社会事業団北陸支部に引き渡し)

### ◇表彰事業

#### ・平成26年度 中日ボランティア賞 (5月1日～12月31日・北陸三県)

石川、富山、福井各県で地道な社会活動や、子ども達の隠れた善行、他の模範となるボランティア活動を続けている個人、グループや団体を顕彰した。従来の「中日ボランティア顕彰」(成人対象)と「中日あおば賞」(青少年対象)を統合し、今回で7回目。

北陸三県下の福祉・教育関係機関、社会福祉協議会、公民館や図書館、病院、中日新聞北陸本社の支社、支局などから55件の推薦があり、社内外の選考会で31件



北陸三県受賞者の方

(石川13件、福井9件、富山9件)が選ばれた。

12月6日(土)、ANAクラウンプラザホテル金沢で表彰式を行い、受賞者に賞額、記念品を贈った。後援：石川県、富山県、福井県、三県教育委員会、三県社会福祉協議会、金沢市教育委員会

## ◇障がい児・者福祉事業

### ・第12回 中日ふれあい作品展（11月15日～17日・めいてつエムザ）

石川・富山県内の障がい者（児）が取り組んだ絵画や書道作品を紹介する「中日ふれあい作品展」を、金沢ライオンズクラブ共催、北陸銀行協賛で11月15日（土）から17日（月）の3日間、「めいてつエムザ」で開催。

福祉施設の入（通）所者や児童らが取り組んだ書道149点、絵画164点の応募作品をすべて展示した。市民の目に触れることの少ない障がい者らの作品を多くの人に見てもらい、障がい者福祉への理解を深めるために開催。今年で12回目。

絵画部門では金沢アート工房（知的障害者自立支援工房）国枝千晶代表や二紀会員の小原瑛子先生ほか関係者が審査した結果、今年度は特別賞として金沢ライオンズクラブ賞、北陸銀行賞、北陸中日新聞賞、同社会事業団賞が各1点、佳作4点、入選4点、奨励賞3点が選ばれた。

書道部門には書道家の西田裕美先生ほか関係者に審査を依頼。絵画部門と同じく特別賞各1点、佳作3点、入選3点、奨励賞3点、計28点の作品が選ばれ、11月28日（金）、金沢ニューグランドホテルで表彰式が行われた。

共催：金沢ライオンズクラブ、

協賛：（株）北陸銀行、

後援：石川県、富山県、各県教育委員会、各県社会福祉協議会



「中日ふれあい作品展」会場の様子

## ◇児童福祉・母子福祉事業

### ・「第35回金沢手をつなぐ親の会水泳大会」を支援

（11月23日・金沢市西部市民体育館プール）

障がいを持つ子供たちの保護者らで運営している金沢手をつなぐ親の会が開催した。日常の体育訓練を通して、知的障がい児の身体的、心理的発達、社会的適合の促進向上を目指した水泳大会の参加者に、表彰メダルや参加賞を贈り長年支援を続けている。

## ◇高齢者福祉事業

☆チャリティーコンサート、各種イベントなどの後援・協力をし、購入または寄贈して頂いたチケットを高齢者の方々へ届けて招待した。

## ◇資金造成事業

### (1) 年末助け合い運動（11月25日～12月26日・石川県下）

年末助け合い運動を11月25日から12月26日まで中日新聞北陸本社と連携をとり、広く募金活動を展開した。

支部では25件・合計559,790円の募金が集まり、石川県下の障害者支援施設、地域活動支援センターなど5施設へ届けた。

### (2) その他

☆中日新聞北陸本社主催のイベント会場に募金箱を設置して善意を募った。

☆金沢市内の販売店に募金箱の店頭設置や販売店主催行事などへの募金箱設置を依頼した。

☆その他各イベントに募金箱の設置を依頼した。

## ◇援護事業

### ☆東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、4年を過ぎても多くの義援金が寄せられている。

### ☆たまきはる福島基金

平成24年3月1日より受け付けを開始した、福島原発事故で避難を余儀なくされた子どもや若者などを精神的、経済的に支援する「たまきはる福島基金」を引き続き継続して受け付ける。

### ☆広島土砂災害義援金

平成26年8月20日に発生した広島土砂災害では、義援金を10月10日まで受け付けた。

# 事業一覧

(北陸支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/6	あれから3年東日本復興チャリティ 早春皆なで歌おうイン津軽	後援	カラオケ喫茶津軽	食事処津軽(小松市)
5/3	H・Y・N全国大会(ボウリング大会)	後援	前百万リゾートレーン	百万石リゾートレーン(小松市)
5/25	東日本大震災 チャリティ ストリート ライブ vol.6	後援	永村幸治 with Sound Splash	金沢駅東広場(鼓門)
5/31~6/1	第33回百万石臈月盆栽展	後援	日本臈月協会金沢支部	金沢市民芸術村PIT57-ト工房
10/26	能美市民歌謡の集い	後援	てらい愛唱会	能美市寺井地区公民館大ホール
11/15~17	第12回中日ふれあい作品展	主催	北陸中日新聞社会事業団ほか	めいてつエムザ(金沢市)
11/23	第35回金沢手をつなぐ親の会水泳大会	後援	金沢手をつなぐ親の会	金沢市西部市民体育館プール
11/25~12/26	年末助け合い運動	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県下
11/28	第12回中日ふれあい作品展 表彰式	主催	北陸中日新聞社会事業団ほか	金沢ニューグランドホテル
12/6	平成26年度中日ボランティア賞 表彰式	主催	北陸中日新聞社会事業団ほか	ANAクラウンプラザホテル金沢
12/7	青山歌謡教室20周年記念歌謡祭&チャリティー・ ディナーショー	後援	青山歌謡教室	金沢ニューグランドホテル
2/3	年末助け合い運動 義援金贈呈	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県下障害福祉施設
2/14~15	チャリティ 呉服市	後援	大橋呉服店	大橋呉服店(小松市)
3/9	大井中日就学(職)支援金贈呈	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県下児童養護施設
毎月	あすなる親の会(ひきこもりを考える)例会	共催	あすなる親の会	石川県下

## 東海支部

静岡県内を対象に中日新聞東海本社と緊密な連携をとり、地域社会の人々や関係機関、各種団体などの積極的な協力を得て、平成26年度の事業を実施した。

### ◇心身障がい児・者福祉事業

#### (1) 静岡県聴力障害者理容協会創立50周年記念大会 (10月13日・おおとり荘)

昭和37年に設立した静岡県聴力障害者理容協会の50周年を記念し、ろう理容師と関係各機関との親睦を深め、豊かな社会を目指すことを目的として開かれた。大会を後援し、助成金10,000円を贈った。

#### (2) 第28回静岡オレンジマラソン大会

(10月17日・静岡県草薙総合運動場陸上競技場)

福祉を育てる民間運動行事の一環として、静岡県知的障害者福祉協会などが主催する知的障害者のマラソン大会。大会を後援し、メダルを贈った。

#### (3) 第16回東海地区盲学校フロアバレーボール大会

(11月12日・静岡県草薙総合運動場体育館)

愛知・静岡・岐阜・三重各県の盲学校・視覚特別支援学校の生徒によるフロアバレーボール大会。技術や体力向上をめざし、また生徒同士の交流と親睦を図る目的で開催。大会を後援し、参加賞のタオルを贈った。

#### (4) 第20回東海地区特別支援学校知的障害教育サッカー大会

(12月25日・小笠山総合運動公園)

愛知・静岡・岐阜・三重各県の特別支援学校知的障害教育校の生徒によるサッカー大会で、スポーツ実践の機会を通じ、相互交流・体力向上を図るため開かれた。大会を後援し、盾・メダルを贈った。

## ◇児童福祉・母子福祉事業

### (1) 第43回静岡県児童福祉施設夏季球技大会（8月21日・湖西市みなと運動公園）

静岡県児童福祉施設12カ所の入所児童・生徒による、中・高生部門、小学生部門に分かれてのソフトボール大会。大会を後援し、盾と参加賞を贈り大会運営に協力した。

### (2) 生活保護家庭の中学生に図書カード贈呈（12月16日・静岡県西部地区）

静岡県西部地区在住で生活保護を受けている家庭の中学生216人（浜松市191人、磐田市13人、袋井市8人、掛川市3人、御前崎市1人）に、激励として図書カード1人5,000円分を贈った。



生活保護家庭の小・中学生や保護者から寄せられた礼状の一部

### (3) 生活保護家庭の小学校新入学児童に図書カード贈呈

(27年2月16日・静岡県西部地区)

静岡県西部地区在住で生活保護家庭の新年度小学校へ入学する児童61人（浜松市54人、磐田市4人、袋井市2人、掛川市1人）に図書カード1人3,000円分を贈った。

### (4) 浜松市在住の交通遺児中学卒業生に辞書贈呈（27年3月6日・浜松市）

浜松市在住の交通遺児で、26年度に中学校を卒業する生徒（1人）に、辞書（広辞苑）を贈った。

### (5) 交通遺児義援金の贈呈（27年3月25日・浜松市）

浜松市および近郊在住の人々から寄せられた交通遺児義援金を浜松市交通遺児等福祉事業基金へ384,633円を届けた。

## ◇高齢者福祉事業

- ・寿会ゴルフ大会（毎月1回・豊岡国際カントリークラブ）

高齢のゴルフ愛好者で構成される、寿会が開催する「寿会ゴルフ大会」を後援した。

## ◇表彰事業

- ・第31回中日ボランティア賞（贈呈式＝10月22日・ホテルコンコルド浜松）

静岡県内で積極的なボランティア活動に取り組む団体を発掘するとともに、その活動を支援するため優秀な受賞団体に奨励金を贈る主催事業。静岡県、同県社会福祉協議会、同県ボランティア協会、浜松市が後援し、浜松市を除く後援3団体より35件の推薦があった。受賞7団体（静岡県西部4団体、中部2団体、東部1団体）を選考委員会で決定。10月22日に贈呈式を行い、賞状・奨励金（1団体150,000円）を贈った。



第31回中日ボランティア賞を受賞した各団体の代表者ら  
＝浜松市で

## ◇資金造成事業

- （1）年末助け合い運動（11月25日～12月26日・中日新聞東海本社ほか）

中日新聞東海本社と連携をとり、広く募金活動を展開した。寄付金は64件、総額で2,549,826円となった。

## (2) 年末助け合い 第33回ふるさと知名人チャリティー色紙展

(12月2日～4日・遠鉄百貨店8階特設催会場)

静岡県にゆかりのある知名人(画家・書道家・版画家など)から、チャリティーで作品提供を受け、展示中に来場者が1枚4,000円で購入、その売上金を寄付する主催事業。中日新聞東海本社と連携をとり開催。経費を除いた売上金(460,000円)の半額を年末助け合い運動資金に、半額を12月16日に静岡県社会福祉協議会に贈った。



市民らでにぎわう第33回ふるさと知名人チャリティー色紙展=浜松市で

## (3) 社会福祉事業資金造成 第31回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会

(27年3月18日・豊岡国際カントリークラブ)

豊岡国際カントリークラブで開催し、上位入賞者にトロフィーを贈呈。参加費の一部をチャリティー寄付金とし、65,000円の社会福祉事業資金が集まった。

## ◇その他事業

### (1) 第20、21回スズキビジネスチャリティーゴルフ大会

(7月2日、12月3日・いなさゴルフ倶楽部浜松コース)

地元企業が主催するチャリティーゴルフ大会が開催された。困窮している浜松市のペルー人学校を支援する目的で寄付を募って社会福祉活動に貢献しており、本大会を後援した。

### (2) 静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成(5月・静岡県)

昭和52年に民間のボランティア活動推進機関として設立された静岡県ボランティア協会が平成19年4月に30周年を迎えた。これを記念し、同協会では毎年年次レポートを発行しており、今年も助成金として50,000円を贈った。

### (3) 第37回静岡県ボランティア研究集会

(27年2月8日・静岡文化芸術大学講堂ほか)

静岡県内でボランティア活動に関わる人が集い、情報交換や話し合いを通じた学習・ネットワークづくりを強化することを目的とした集会。集会を後援し、運営援助金50,000円を贈った。

## ◇援護事業

### ☆災害義援金

東日本大震災義援金は平成23年3月11日の地震発生後4年目となった26年度は97件3,996,915円の寄付があり、発生から26年度末までに東海支部に寄せられた義援金は計4億8500万円を超えた。

このほか、8月20日に発生した広島土砂災害には54件2,866,353円の義援金が寄せられ、本部を通じて被災地へ届けた。

# 事業一覧

(東海支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4月～3月	寿会ゴルフ大会	後援	豊岡国際カントリークラブ	豊岡国際カントリークラブ (磐田市)
5月	静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成	後援	特定非営利法人 静岡県ボランティア協会	静岡県
7/2	第20回スズキビジネスチャリティーゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネス大会実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
8/21	第43回静岡県児童福祉施設夏季球技大会	後援	静岡県児童養護施設協議会 静岡県社会福祉法人経営者協議会	湖西市みなと運動公園
10/13	静岡県聴力障害者理容協会創立50周年記念大会	後援	静岡県聴力障害者理容協会	おおとり荘(伊豆の国市)
10/17	第28回静岡オレンジマラソン大会	後援	静岡県知的障害者福祉協会 静岡県手をつなぐ育成会 NPO法人静岡県作業所連合会・わ	静岡県草薙総合運動場陸上 競技場(静岡市)
10/22	第31回中日ボランティア賞贈呈式	主催	中日新聞社会事業団東海支部	ホテルコンコルド浜松(浜松市)
11/12	第16回東海地区盲学校フロアバレーボール大会	後援	東海地区特別支援学校体育連盟	静岡県草薙総合運動場体育館 (静岡市)
11/25～12/26	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団東海支部	中日新聞東海本社ほか
12/2～4	第33回ふるさと知名人チャリティー色紙展	主催	中日新聞社会事業団東海支部	遠鉄百貨店8階特設催会場 (浜松市)
12/3	第21回スズキビジネスチャリティーゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネス大会実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
12/16	静岡県西部地区生活保護家庭中学生に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
12/25	第20回東海地区特別支援学校 知的障害教育サッカー大会	後援	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会	小笠山総合運動公園(袋井市)
2/8	第37回静岡県ボランティア研究集会	後援	NPO法人静岡県ボランティア協会	静岡文化芸術大学 講堂ほか (浜松市)
2/16	静岡県西部地区生活保護家庭 小学校新入学児童に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
3/6	浜松市在住交通遺児中学卒業生に辞書贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市
3/18	社会福祉事業資金造成 第31回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会	主催	中日新聞社会事業団東海支部	豊岡国際カントリークラブ (磐田市)
3/25	交通遺児義援金贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市役所

## 東京支部

本部および中日新聞社東京本社（東京新聞）と緊密な連携をとりながら、新聞の発行エリアである東京都を中心に、「東京新聞社会事業団」名義で活動を行った。

### ◇障がい者福祉事業

- ・第18回全日本ID（知的障害者）バレーボール選手権大会

（8月2、3日・浦安市運動公園総合体育館）

全日本IDバレーボール大会が開催され、東京新聞・東京中日スポーツと東京支部が後援。副賞（参加チームから各1名に優秀選手賞）を贈呈した。

### ◇東日本大震災・東京電力福島第一原発事故関連事業

#### （1）避難者支援事業

埼玉県への避難者が地元住民らと立ち上げた交流サロンのうち、別表の団体に活動費用の一部、合計45万円を助成した。

活動地区	団体名・活動名称	代表者名	主な活動場所
埼玉県新座市	震災支援ネットワーク新座	谷森 櫻子	新座市・国家公務員住宅集会所
埼玉県越谷市	一歩会	新妻 敏夫	越谷市内各所
埼玉県所沢市	青空あおぞら	岡田 恭子 震災支援ネットワーク埼玉	所沢市公民館



「震災支援ネットワーク新座」に参加している避難者と法律専門家など

## (2) 被災地の少年野球チームと交流会

東京都体育協会が行っている「被災地交流事業」で、岩手県大船渡市の猪川野球クラブを招いて東京都江東区の江東区砂町少年野球連盟と交流試合を行った。両チームの選手にタオルを贈呈した。

## ◇福祉事業

### ・レイプクライシスセンターTSUBOMIに助成金

都内に本部を置き、男女性暴力被害者からの電話・メール・面接・法律各相談と裁判所や病院への付き添い活動を行っている「レイプクライシスセンターTSUBOMI」（望月晶子代表）に本年も48万円を助成した。助成は3年目。

## ◇資金造成事業

### (1) 年末助け合い運動

11月25日から12月26日まで東京本社と同支局などの協力を得て読者らに呼びかけた。期間中に23件・470,800円の善意が寄せられ、あしなが育英会115,000円、交通遺児育英会115,000円、日本点字図書館12万円、東京都社会福祉協議会東京善意銀行12万円をそれぞれ送金。残額の800円は寄託者の要望により福祉事業資金とした。

### (2) 東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で大きな被害を受けた被災者への義援金を募るため、翌12日より東京本社と協力して実施。昨年度に引き続き、郵便振替、東京本社や支局、ショッパー社、中日新聞社友会東京支部の総会での募金など善意が多数寄せられ、今も途切れることなく続いている。

今年度東京支部へ寄せられた義援金は288件・6,613,101円。また東京支部の管轄エリアで被害が大きく現在も義援金を受け付けている茨城県へ300万円を届けた。



橋本昌茨城県知事<sup>㊟</sup>に目録を渡す、山岸利行水戸支局長＝茨城県庁にて

### (3) たまきはる福島基金

東京電力福島第一原発事故で避難を余儀なくされた人たちを経済的精神的に支援する同基金への寄託を社会事業団でも実施。今も途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた義援金は61件・836,000円。

# 事業一覧

(東京支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/1~3/31	「NPO法人レイプクライシスセンターを設立する会」助成	主催	中日新聞社会事業団東京支部	東京都千代田区
4/1~3/31	第17回がんばれ先生！東京新聞教育賞	後援	中日新聞社東京本社(東京新聞)	東京新聞紙上
8/2~3	第18回全日本IDバレーボール選手権大会	後援	日本IDバレーボール連盟ほか	浦安市運動公園総合体育館
8/9~11	平成26年東日本大震災被災地交流事業	後援	(公財)東京都体育協会ほか	江東区南砂少年野球場
8/18	東日本大震災・東京電力福島第一原発事故 埼玉県避難者団体支援事業助成	主催	中日新聞社会事業団東京支部	埼玉県内3団体
10/1~3	第41回国際福祉機器展H.C.R.2014	後援 (協賛)	全国社会福祉協議会ほか	東京ビッグサイト東展示ホール
10/13	2014グリーンリボンランニングフェスティバル	後援	中日新聞社東京本社(東京新聞)	駒沢オリンピック公園陸上 競技場及びジョギングコース
11/25~12/26	年末助け合い運動募金	主催	中日新聞社会事業団東京支部	東京新聞紙上
12/18	第12回本間一男記念 日本点字図書館チャリティ コンサート「梯剛之デュオ・リサイタル ～ヴォルフガング・ダヴィッドを迎えて」	後援	(福)日本点字図書館	東京文化会館

## 岐阜支部

岐阜県内を対象に本部・中日新聞岐阜支社と緊密に連携、関係機関・各種団体などの協力を得て地域に密着した福祉事業を企画・実施した。

### ◇心身障がい児・者福祉事業

#### (1) 岐阜県特別支援学校チャレンジ陸上競技大会

(7月25日・岐阜メモリアルセンター長良川競技場)

岐阜県内の特別支援学校の児童・生徒に、広く陸上競技の進行を通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに、相互の親睦を深め、社会性を育てることを目的に行った。

後援：岐阜県特別支援学校体育連盟

#### (2) 第12回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ大会

(11月16日・岐阜メモリアルセンター長良川競技場)

障がいのある人も手軽に楽しむことが出来るグラウンド・ゴルフを通して、全国の障がい者が、交流と親睦を深めると共に、グラウンド・ゴルフの一層の振興及び障がい者の自立と社会参加の促進に資することを目的とする。祝賀へりによる花束の投下を行った。

共催：岐阜県身体障害者スポーツ協会

連携：本部



熱戦を繰り広げた、全国グラウンド・ゴルフ大会

### (3) CPサッカー全日本選手権（9月14、15日・長良川メドウ）

CPサッカーの認知度を高め、組織強化に繋げることで、肢体不自由者のスポーツ参加の機会を促進する目的で、脳性麻痺のサッカー全国大会を開催した。

後援：日本脳性麻痺7人制サッカー協会

### (4) 第23回手話スピーチコンテスト（11月15日・中部学院大学各務原キャンパス）

聴者と聴覚障がい者の共生が実現できるような社会をめざし、手話の普及と聴覚障害者福祉の推進を目的に、手話によるスピーチコンテストを開催した。

共催：中部学院大学、(社)岐阜県聴覚障害者協会

## ◇児童福祉・母子福祉事業

### (1) 岐阜市内の母子家庭親子を東京ディズニーランド旅行へ招待

（8月22日～24日・東京ディズニーリゾート）

岐阜市内の母子家庭の親子を対象に、夏休みの親子の思い出作りを目的に、バス2台を用意し、東京ディズニーランド旅行に招待した。岐阜社会福祉事業協力会より同事業に指定寄付を受け、6月に中日新聞の紙面や岐阜市の広報を通じ募集し、2泊（車中）3日で行った。

共催：岐阜市母子寡婦福祉連合会



ディズニーバス旅行。到着したTDR駐車場で

## (2) チャイルドライン受け手ボランティア養成講座開講

(6月1日～8月9日・ふれあい福寿会館)

18歳以下の子供の心の声を聴く電話を受けるボランティアの養成講座を、開催した。同時に自殺防止講演会も実施した。

後援：チャイルドラインぎふ

### ◇医療事業

#### (1) 薬物依存症医療相談の実施

(毎月第2水曜日・特定非営利活動法人岐阜ダルク事務所)

薬物依存症自立支援団体「岐阜ダルク」の協力で、同症の自立支援および啓発活動として、薬物依存症患者に対しての電話相談を行った。

共催：特定非営利活動法人岐阜ダルク

#### (2) 心の病家族相談センター

(毎週火、木曜日・特定非営利活動法人岐阜県精神保健福祉連合会事務所)

特定非営利活動法人岐阜県精神保健福祉会連合会が開設する「心の病」家族相談センターを共催した。

共催：特定非営利活動法人岐阜県精神保健福祉連合会

#### (3) 介護者のつどいの実施 (年間71回・中日新聞岐阜支社など県内7ヶ所)

認知症の介護経験を持つ相談員による介護相談を、認知症の人と家族の会の協力で、県内7ヶ所で年間71回開催した。

共催：公益社団法人認知症の人と家族の会岐阜県支部

#### (4) 医療講演会

- ・腎臓病医療講演会(6月30日・長良川国際会議場)
- ・精神保健福祉研修会(11月1日・高山市こくふ交流センター)
- ・網膜色素変性症(11月6日・高山市役所)
- ・アルツハイマーデー講演会(9月6日・恵那市地域包括支援センター)
- ・ぎふ難聴者協会勉強会(9月13日・則武公民館)
- ・人工内耳相談会(9月21日・ソフトピアジャパン)

などに対する医療講演会や研修会を開催した。

後援：各難病団体

## ◇福祉団体への助成事業

### (1) 社会福祉団体共催金・助成金贈呈式（8月8日・中日新聞岐阜支社）

岐阜県難病団体連絡協議会など、岐阜県内の各種社会福祉団体19団体に対して195万円を、今年度の事業共催金・助成金として贈呈した。

### (2) 社会福祉施設花いっぱい運動（5月23日・県内50社会福祉団体）

社会福祉施設の環境美化を図るとともに、心に潤いのある生活を願って県内の各社会福祉施設に、春からの苗・種子・球根を贈り秋まで彩る花壇作りを計画した。各種団体や中日新聞販売店の協力を得て、運動の成果を冊子にまとめ関係者に配布し、施設の内容や頑張りを紹介した。



成果を伝える冊子。社会福祉施設花いっぱい運動

### (3) 岐阜ダルクチャリティーコンサート（5月12日・カトリック岐阜教会）

薬物依存症自立支援団体、岐阜ダルクの活動に対し、協賛した音楽活動家によるチャリティーコンサートを後援した。

後援：岐阜ダルク

## ◇資金造成事業

### (1) 年末助け合い運動（11月25日～12月27日・岐阜支社管内）

岐阜県内の福祉施設や福祉団体の支援のため、中日新聞岐阜支社と各支局・通信局部、販売店などの協力を得て、中日新聞紙面を通じ年末助け合い運動を展開した。

### (2) 郷土の美術家ぎふ展（12月13日～18日・岐阜高島屋シネックスホール）

東海3県内で活躍する日本画・洋画・工芸・書の各部門の実力作家や人気作家の最新作150余点を販売、当日は開場前から100人ほどが並び好評を得た。



入場者でにぎわう年末チャリティー会場で

## ◇援護事業の実施

### ・自然災害発生の援護活動

東日本大震災・広島土砂災害の自然災害発生に際し義援金の受付などを実施した。また、中日新聞の紙面を通じ広く読者に支援を呼びかけた。

# 事業一覧

(岐阜支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/2他	「心の病」家族相談センター開設(毎週火・木)	共催	岐阜県精神保健福祉連合会	県精神保健福祉協会事務所 (岐阜市)
4/3他	介護者のつとめ(71回開催)	共催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜中日ビル他県内7ヶ所
4/9他	薬物依存症医療相談(11回開催)	共催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜ダルク事務所(岐阜市)
4/11	チャリティーライブ(10回開催)	後援	岐阜県歌謡研究会	スタジオ105(岐阜市)
5/12	岐阜ダルクチャリティーコンサート	後援	岐阜ダルク	岐阜カトリック教会(岐阜市)
5/23	岐阜県社会福祉施設「花いっぱい運動」	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜県内50施設
5/24	笠松刑務所大運動会	後援	笠松刑務所	笠松刑務所運動場
6/1~8/9	チャイルドラインぎふ受け手ボランティア養成講座 (11回開催)	後援	NPO法人チャイルドラインぎふ	ふれあい福寿会館(岐阜市)
6/15	精神保健福祉講演会	後援	岐阜県精神保健福祉連合会	北方町公民館
6/30	岐腎協・医療講演会	後援	岐阜県腎臓病協議会	長良川国際会議場(岐阜市)
7/5	ピア岐阜家族会	後援	ピア岐阜	岐阜市民福祉活動センター
7/25	岐阜県特別支援学校チャレンジ陸上競技大会	後援	岐阜県特別支援学校体育連盟	メモリアルセンター(岐阜市)
8/8	社会福祉団体共催・助成金等贈呈式	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	中日新聞岐阜支社
8/12	プロ野球公式戦招待	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	長良川球場(岐阜市)
8/19~9/1	ふれあいアートステーション作品展	後援	岐阜県身体障害者福祉協会	アートカフェ中日茶房 (岐阜市)
8/22~24	東京ディズニーランドバス旅行	共催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	東京ディズニーリゾート (千葉県)
9/6	アルツハイマーデー記念講演会	後援	認知症のひとと家族の会岐阜県支部	恵那市地域包括支援センター
9/7	自殺防止講演会	後援	厚生労働省	グランパール岐山(岐阜市)
9/13	ぎふ難聴者協会勉強会	後援	NPO法人ぎふ難聴者協会	則武公民館(岐阜市)
9/14、15	CPサッカー全日本選手権	後援	日本脳性麻痺7人制サッカー協会	長良川メドウ(岐阜市)
9/16	岐阜ダルクフォーラム	後援	岐阜ダルク	岐阜県民ふれあい会館
9/21	人工内耳相談会	後援	NPO法人ぎふ難聴者協会	ソフトピアジャパン(大垣市)
9/23	岐阜市母子寡婦福祉大会	後援	岐阜市母子寡婦福祉連合会	岐阜市文化センター
9/23	かがり火講演会	後援	岐阜県要約筆記サークルかがり火	岐阜市民福祉活動センター
9/28	第26回岐阜県視覚障害者文化祭	後援	岐阜県視覚障害者協会	揖斐川町中央公民館
10/12	飛騨市身体障害者体育大会家族運動会	後援	飛騨市身体障害者協会	飛騨市立神岡小学校
10/26	第48回岐阜県身体障害者飛騨ブロック体育大会	後援	飛騨市身体障害者協会	飛騨市桜ヶ丘体育館
10/26	岐阜県中濃ブロック身体障害者体育大会	後援	岐阜県中濃ブロック身体障害者協会	関市中池公園陸上競技場
11/1	岐阜県精神保健福祉会研修会	後援	NPO法人岐阜県精神保健福祉連合会	高山市こくふ交流センター

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
11/5~9	カンボジアと日本の子供の絵画展	後援	ヤマダ児童画教室	各務原市産業文化センター
11/5~18	ふれあいアートステーション作品展	後援	岐阜県身体障害者福祉協会	アートカフェ中日茶房 (岐阜市)
11/15	第23回中部手話スピーチコンテスト	共催	中部学院大学、(社)岐阜県視覚障害者協会	中部学院大学(各務原市)
11/16	日本網膜色素変性症医療講演会	後援	日本網膜色素変性症協会岐阜県支部	高山市役所会議場
11/16	第12回全国身障者グラウンド・ゴルフ大会	共催 (本部と連携)	岐阜県障害者スポーツ協会	メモリアルセンター(岐阜市)
11/17	花いっぱい運動冊子配布および感謝状贈呈	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜県内50施設、協力団体
11/24	スイミングカーニバル	後援	(公社)すくすく岐阜	長良川スイミングプラザ (岐阜市)
11/25	岐阜ダルクフォーラム	後援	岐阜ダルク	岐阜県民ふれあい会館
11/25~12/26	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜支社と管内支局通信局部 及び中日新聞販売店
12/13~17	郷土の美術家ぎふ展	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	シネックスホール(岐阜市)
12/23	年末助け合い年忘れ踊り大会	後援	郡上踊り新正春駒会	岐阜グランドホテル(岐阜市)
12/24	愛のともしび基金寄付	主催	中日新聞社会事業団 岐阜支部	岐阜県庁
1/20~23	岐阜県立関特別支援学校高等部作業製品展	後援	岐阜県立関特別支援学校	アートカフェ中日茶房 (岐阜市)
2/10~23	ふれあいアートステーション作品展	後援	岐阜県身体障害者福祉協会	アートカフェ中日茶房 (岐阜市)
2/19	精神保健福祉講演会	後援	岐阜県精神保健福祉連合会	岐阜県農業福祉会館
3/1	岐阜ダルクフォーラム	後援	岐阜ダルク	岐阜県民ふれあい会館

## 中日青葉学園

社会福祉法人中日新聞社会事業団中日青葉学園は、昭和35年4月、虚弱児施設として開設、児童福祉法改正に伴い、平成10年4月、児童養護施設に種別変更、平成15年10月、児童養護施設「あおば館」(定員70人)に新たに児童心理治療施設「わかば館」(定員35人)を加えた複合型児童福祉施設となった。園舎は平成15年、複合型施設に変わった際、全面改築し、あおば館は70人が男女別で集団生活する大舎制から、男女別で15人から18人が4つのグループで生活する中舎制に転換、さらに25年10月、中舎1ホームを小規模2ホームに改造したのを皮切りに、今後、小規模化を進めていく。開設当初から、敷地内に日進市立日進中学校・北小学校の青葉分校として学習棟を設け、生活と教育を一体化して社会的養護が求められる児童の支援に当たっている。青葉分校も平成18年3月に建て替えた。

「社会的養護」は、児童を大きな集団で育てる「施設養護」から小さなグループで育てる「家庭的養護」へ変わり、あおば館は平成41年までに施設定員を45人とし、生活形態も全て小規模化する家庭的養護推進計画は愛知県の要請を受け、一部修正(別紙)、26年8月の理事会で承認された。この計画では、「子ども6人を1軒の家で育てるファミリーホーム」への支援、連携をすることも求められており、東海市に元学園職員が開設したファミリーホーム「くらちゃんハウス」への支援、連携を進めている。

### (1) 安全安心

児童福祉施設は、虐待など不適切な関わりを受けた子どもたちを預かる場として、子どもたちが「安全で安心して暮らせる」場所であることが求められている。子ども同士の「いじめ」「暴力」には適切に対応、被害が大きくなるように努めるため、「安全安心委員会」の名のもとに、関係職員が連携を取り対応に当たっている。

ハード面では①些細なことから子ども同士がトラブルになるのを防ぐため、わかば館あさぎホーム(女子)の小学生居室を2つに分割した②わかば館児童玄関前とあおば館けやきホーム周囲にフェンスを設置、生活と公けの場の境界線を明確にした③自転車事故防止のため正門進入路坂道で赤塗装に白抜きで「とまれ」と表示した。また、7月、尾三消防本部日進消防署による救急救命講習会、月1回の避難・消火指導(12月は夜間想定避難訓練)を行い、児童全体会で安全マップをもとに学園敷地内の遊び方、児童連れ去り防止などを伝えている。

4月、業者が学園内遊具を点検、安全を確認した。

## (2) 権利擁護

被措置児童虐待防止が児童福祉法に盛り込まれたのを受け、児童間の暴力、職員から児童への不適切な関わりがないように、最優先事項として取り組んでいる。11月の全職員意識レポートなどを通じ、権利擁護への取り組みを再確認した。児童全員が集まる毎月の全体会で①要望や苦情を口頭でも書面でもいつでも伝えてほしい②苦情を言っても不利益にならないと話している。

## (3) 合同職員研修

あおば館、わかば館両館の職員を対象に毎月の合同会議にあわせ研修を行っている。4月(26年度事業計画、あおば館庭的養護推進計画)5月(外部からみた施設)6月(事業報告、決算)7月(食中毒・熱中症対策、あおば館家庭的養護推進計画改定)9月(新理事長あいさつ)10月(施設支援職員研修復習)11月(職員セルフケア・カイロプラティック)12月(ノロウイルス、インフルエンザ対策)1月(27年学園目標、パソコン新システム)2月(原教授卒園生調査報告・下記参照)3月(複合施設の在り方)。6、7月、2班に別れ、26年4月に開設した児童養護施設「あいさんテラス」(津島市)を見学した。

安全安心の意識を高めるため、児童相談センター施設支援検討委員会職員研修を9月、開催、「施設の現状と課題」「施設内不適應の理解と対応」について学び、家庭支援専門相談員、小規模ケア職員、心理士などがそれぞれの立場から意見交換を行った。

金城学院大学教授による調査研究の中間報告を受けた。中日青葉学園の開設から50年間を経て「児童養護施設等入所児童家族の生活課題の重層性について～中日青葉学園退所者の調査から～」と題し、1,106人の全体の傾向と退所から10年以上経過した卒園生のインタビューから見えてくる問題と課題が示された。誕生から今日に至るライフポイントについて光を当て、どのような支援が望まれるかの分析結果を受け、在園児童への支援に生かせる方策について話し合った。

## (4) ボランティア

福祉サービスの援助者として、また、地域に開かれた施設作りの一つとして学園ではボランティア活動に力を入れており、ボランティア組織「青葉友の会」が次のような活動を続けている。

▽「竹の子会」毎月第3月曜日に多目的ホールで児童の理美容奉仕▽「児童英語サークル」月3回、名古屋外国語大学生の英語教室▽「園十会」月2回、パンジー、チューリップなど季節の花壇づくり▽「ライラック」月8回児童の洗濯物や、衣類の繕い(児童インフルエンザ発症時は休止)▽「クローバー」月4回、大学生が幼児と小学生と遊ぶ▽「若葉グループ」社会人が青葉まつりなど各種行事への協力。

日本フラワーデザイナー協会愛知県支部が12月6日、クリスマスリース教室、3月20日、フラワーアレンジ教室を開いた。中日森友隊が12月13日、正面通路横植え込み整理と雑木林下草刈り活動。

#### (5) 恒例行事

夏の目的別活動。▽A班 岐阜県郡上市高鷲町（幼児）▽B班 郡上川遊び（小学生）▽C班 若狭海水浴（中高生）▽D班 酪農など体験（小学生）▽E班 知多半島アドベンチャー（小中生）一の5グループに分かれ、両館の子どもたちが行事を通して交流した。

第18回青葉まつり10月25日、卒園生、保護者、地域の子どもたちも集まり、全日本アミューズメント施設営業者協会連合会協力の無料ゲームや模擬店などを楽しんだ。あおば、わかば両館の児童が10台の和太鼓で共演した。クリスマス会は愛知中央ライオンズクラブ、もちつき大会はボランティアの協力を得て行った。

#### (6) 巣立ちの会

退園を祝う「巣立ちの会」を3月21日、開いた。ことしの対象者は、高校卒業し大学・専門学校へ進学するあおば館男子3人、女子1人、わかば館女子1人、就職するあおば館女子1人、わかば館男子1人。中学を卒業、家から進学するあおば館男子1人、わかば館女子2人。家に帰るあおば館男子1人、わかば館男女各1人、他施設に移るわかば館男女各1人。8人が思い出の写真を見ながら学園生活を振り返り、職員に感謝の気持ちを伝えた。

会場は日本フラワーデザイナー協会愛知県支部、名港フラワーブリッジの協力で季節の花が飾られ、参加者を感激させた。学園児童が前日、フラワーアレンジ作りのお手伝いをした。

#### (7) 問題行動・事故

この1年間に、喫煙指導1件、ガラス破損1件、小中学生の性化行動2件、自転車事故2件、児童間暴力4件、無断外出4件、集団飲酒2件、児童の職員への威嚇1件、文具など盗み行為3件、集団万引き1件、自傷行為1件があった。事案ごとに安全安心委員会として「聞き取り、背景分析、当事者への指導、関係者への謝罪、再発防止検討」をした。学園職員による児童への不適切な関わり（児童の頭を叩く）が2件あり、関係職員、学園長を懲戒処分した。

#### (8) 苦情・意見

「いじめられる。殴られた」「お小遣いを1万円にして」「職員が嫌だ」「全体会をなくして」など投書があった。内容から特定できるものは、職員が関係児童に面談、その都度対応に当たった。小遣いについては予算上アップできないことを説明、全体会不要については「あおば、わかば両館に跨ることを伝える場で

必要である」と伝え、理解を求めた。

職員の暴力、暴言があるとの訴えには、「被措置児童虐待の疑い」として関係児童、職員の聞き取りを行い、児童相談センターに報告した。児童の暴言、児童間のトラブルへの対応時、職員の声掛けや児童を分離する際に「腕を引っ張られた」などという内容。児童への指導の範囲であり、児童相談センター調査で「虐待に当たらない」とされたが、子どもたちの気持ちを汲みながら対応するよう心掛ける。

### (9) 指導監査

愛知県の指導監査が10月にあり、県から「預かり金規程」について再度指摘があった。通帳、印鑑の保管責任者を別々にして相互けん制するようにした。

### (10) 学園見学

自治体、学校など次のような施設見学があった。▽6月、中川区民生児童委員50人▽9月 福井市教委▽12月 愛知総合看護福祉専門学校45人▽2月、浜松市民生児童委員60人、中部善意銀行ほか▽3月、碧南市更生保護女性会40人

### (11) 職員表彰

次の皆さんを表彰した。

▽あおば館川上知幸指導係長、野村花枝児童指導員、山本わか菜保育士、福井由佳里児童指導員、鈴木流風児童指導員▽わかば館横井直子主任指導員、村野知世保育士、前坂美穂保育士、加藤千聖児童指導員、原奈緒子児童指導員＝ホーム全職員がチームで対応が難しい複数児童のケアに当たった。▽あおば館竜栄貴主任指導員、篠原江里児童指導員、加藤有美子児童指導員＝26年夏、愛知県児童福祉施設長会の高校生交流会で主導的役割を果たした。▽あおば館山内早苗臨床心理士＝愛知県施設支援検討会議に施設職員代表の一人として参加、児童相談所マニュアル作りに貢献。

### (12) 施設整備

多目的ホール破損した壁修理、正面防犯灯1基、衣類乾燥機3台、加湿・空気清浄器5台、テレビ2台、トイレ洗浄装置4台。ウインドウズXP廃止に伴い、デスクトップパソコンを職員個人持ちに切り替え、業務の効率アップを図った。あおば館職員室は職員が増えたのと風通しを良くするため、個室になっていた館長室の壁を取り払い、スペースを広げた。

### (13) 調理

児童嗜好アンケートを継続し、新しいメニューに反映させたり、「食育」としてあおば館ホームで職員が子どもと一緒に夕食作り。また、ホームキッチンの衛生状態、冷蔵庫の使用状況をチェック、賞味期限切れの食品がある場合は注意するなど衛生管理に当たった。

#### (14) 大学等進学支援

中日新聞社会事業団の大学進学支援として、大学、専門学校へ進学したあおば館4人、わかば館1人、あおば館退園生1人の計6人に支援金を給付した。支援制度第1号で3年間支援を続けたあおば館退園女子1人が保育士として、日進市内の保育園に就職した。2年の理美容専門学生も職を得た。

#### (15) 外部との関わり

園長が日進市社会福祉協議会理事、尾張東部圏域保健医療福祉推進会議・尾張部虐待防止連絡会議・日進市保育推進委員会・日進市民生委員選定各委員を、わかば館長、事務長、指導療育部長兼あおば館指導課長、わかば館指導課長、あおば館指導係長が大学などで福祉関係者を養成する講座での非常勤講師を、あおば館指導課長、あおば館心理士があおば館での大学、大学院の心理士研修講師を務めた。あおば館わかば館両指導係長が日進市要保護児童対策協議会ネットワーク会議に参加、地域との連携を深めている。

わかば館指導課長が名古屋市教育委員会の依頼を受け、名古屋市立高校で発達障害を含む障害のある生徒に対する就労支援指導・助言に当たった。

11月、日進市健康福祉フェスティバルに出展、パネルで学園を紹介。同月、日進グリーンハイツ自治会と合同防災訓練をした。

#### (16) その他

くらちゃんハウスが青葉まつりで模擬店を出したり、年度末の日帰り旅行で「ナガシマスパーランド」へ一緒に行くなどファミリーホーム支援連携をした。愛知県中央児童・障害者相談センターの養育里親研修で4組を受け入れた。

## 児童養護施設あおば館事業報告

あおば館は、3ホームの中舎制（1ホーム15人から18人）と小規模グループ2ホーム。小規模は2階「しらかば」（女子小学生以上8人）と2階「さくら」（男女幼児8人）。中舎は2階男子「けやき」（18人）3階男子「ひのき」（18人）女子「もみじ」（18人）の3ホーム。寺井陽一指導療育部長兼指導課長のもと、川上知幸、阿尾匡晃指導係長をはじめ職員21人（うち2人心理士）、パート職員4人が児童のケアに当たった。

### （1）入所実績

あおば館定員は70人。この1年間に新たに7人（男子3人、女子4人）が入所、11人（男子6人、女子5人）が退所。

26年4月、幼稚園へ2人（女子）、小学校へ1人（女子）、中学校へ4人（男子3人、女子1人）、高校へ8人（男子6人、女子2人）それぞれ入学した。27年3月、小学校を4人（男子1人、女子3人）、中学校を5人（男子3人、女2人）、高校を5人（男子3人、女子2人）が卒業。中学校を卒業した5人は高校へ進学、高校を卒業した1人は就職、2人は専門学校2人は大学に進学した。高校生1人（男子）が退学した。

26年度延べ入所者は21,512人。一時保護は26人）延べ685日。日進市との子育てショートステイ事業として1人（男子）を2週間預かった。

### （2）生（性）教育（安全安心）委員会

児童間のトラブル、性的な問題についてその都度、安全委員会として取り上げ、情報を共有、関係児童を指導して事が大きくなる前に芽を摘むようにしている。CAP暴力防止プログラムとして職員・幼児・小学低学年・同高学年各ワークショップを、小中高生の飲酒問題を受け飲酒ワークショップを、児童間暴力問題の対応としてセカンドステップを取り入れた。このほか、男女別に小グループで性教育を、性的問題を起こした関係児童に対しては、加害者には指導・再教育、被害者には心のケアを行った。

### （3）食育委員会

月1回、各ホームの職員、栄養士、調理員が集まり、「残食を減らす。おいしく楽しく食事するためのマナー向上」について取り組んでいる。調理部と現場（子ども、職員）間で情報交換し、「子どもの声を調理部へ、調理部の声を子どもへ」と相互理解を深めている。また、「もみじ」「しらかば」「ひのき」「けやき」「さくら」すべてのホームで子ども、調理員、現場職員が夕食（カレーライス、ロールキャベツ、ギョウザなど）作りをした。子どもと話し合ってメニューを決め、

買い物に行き、協力しながらおかずを作り、温かい雰囲気の中で食事をした。

#### (4) 心理対応

常勤2人、非常勤1人の心理士3人体制。カウンセリングやプレイセラピー、SST（怒りのコントロール）などの個別心理療法を26人に実施。小学生高学年に対して、集団心理療法「心の教室」を15回実施した。進路支援として小学高学年、中学2年生を対象に「進路発見応援セミナー」を開催し、職業適性検査を受けたり、職場見学などをした。中学3年生4人には進路相談、面接練習をし全員が高校へ進学した。また、学園近くの相山女学園大学心理臨床相談室の協力で3人が同大学へ赴き、心理療法を受けた。

#### (5) 個別対応と家庭支援

個別対応職員と家庭支援専門員が児童と保護者の支援に当たっている。個別対応として被虐待児童33人に細やかな生活援助を実施、家庭支援は保護者と児童が再び一緒に暮らせるよう関係調整を進めていくもので5人が家庭復帰した。保護者がいても都合で帰省できない児童について、家族療法室や退所支援施設「のぞみ」で保護者と児童が生活を共にした。

#### (6) 退所者支援

退所後、就職したが、対人関係から退職した3人について生活場所の確保、再就職など立ち直りを支援した。退所後、応援が必要な男女5人の支援を継続している。お盆、年末年始など中長期休暇期間には退所者が来園、退所支援施設「のぞみ」などで宿泊した。

#### (7) 職員研修

職員の援助技術の向上を図るため、全国児童養護施設協議会、中部児童養護施設協議会、愛知県社会福祉協議会、愛知県児童福祉施設長会、全国児童養護問題研究会、子どもの虹情報研修センター主催の各種研修、子どもの虐待防止セミナー、性教育、心理職研究会などの研修に参加した。

#### (8) 実習生

実習生受け入れでは保育実習が大学、専門学校15校74人、社会福祉援助技術実習が6校13人、介護等体験が1校13人、心理実習が大学1校27人、大学院2校5人。

#### (9) 学習

高校進学を目指す中学生7人が近くの塾へ通い、3人が学園内で家庭教師の形で学習指導を受けた。名古屋外国語大学ボランティアの英語教室（隔週）には小中学生が参加した。

#### (10) スポーツ活動

児童福祉施設入所児童夏季球技大会（県児童福祉施設長会主催）では、ソフト

ボール1部に1チームが参加、準優勝。卓球は団体戦に1チームが参加、3位入賞した。親善マラソン大会では、小高女子で6年生が3位、中高女子で2年生が4位に入賞した。

11月のサッカー交流会では優勝。12月の施設長会フットサル大会で健闘した。

#### (11) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「社会福祉実習等の受け入れ」「福祉人材育成」「教員養成介護体験」「被虐待児の受け入れ」「一時保護」「退所児童支援」「福祉避難所」「里親支援」の8項目で8.5ポイントを得た。

#### (12) その他

地域との交流活動として、小学生（希望者7人）が市場町側子ども会に加入、歓迎会、ドッジボール・キックベースボール大会、夏・冬のお楽しみ会に参加した。

## 児童心理治療施設わかば館事業報告

青葉学園は一つの理念のもと、あおば館との連携の強化を図り、夏の目的別活動など両館児童の合同行事に積極的に参加をした。わかば館は、「もえぎ」（男子）「あさぎ」（女子）（いずれも2階）の2ホームで生活、食事は1階食堂でとる。石垣儀郎課長以下、指導員、保育士11人、心理士4人、看護師1人、パート職員3人が支援している。

26年度は昨年度の暫定定員を解消し、もえぎ・あさぎの4人部屋を2人部屋に改造するなどしてハード面から児童間の摩擦を軽減して臨んだ年度であった。しかし経験を積んだ心理士、指導員、看護師が相次いで退職をしたこともあって、職員と児童とのパワーバランスが崩れ、夏休みに入る直前に小学生女児5人による無断外出・集団万引き・下級生への暴力行為の問題が発生した。

そうした対応で主任保育士が長期休職に、新任の看護師も休職後退職に追い込まれた。特に女子ホームのあさぎの体制が大きく揺らぎ、夏休み以降新規児童の受け入れが難しくなった。27年度はその反省にたち、入所児童の生活における構造化を図り、安定した施設空間を取り戻すため、安全、安心なわかば館の再構築に取り組む。

何よりも治療施設としての専門性を図るため、児童指導員、保育士、心理士、看護師が一体となって一層の努力を傾注していきたい。

### （1）入退所実績

わかば館定員は35人。この1年間に新たに6人（男子3人、女子3人）が入所、12人（男子5人、女子7人）が退所した。26年4月、中学校へ6人（男子3人、女子3人）が入学した。27年3月、小学校を7人（男子3人、女子4人）、中学校を3人（女子）が卒業。中学校を卒業した2人は高校、1人は専門学校へそれぞれ進学を果たし、女子2人が家庭復帰、女子1人はわかば館から通学する。

高校を卒業した男子はグループホームに入所し、就労支援A型を活用しながら自立の道を目指す。

26年度延べ入所者は11,113人。一時保護は3人(男子)、延べ47日。

### （2）心理対応

不登校や情緒不安定な児童のほか、最近は発達障害児や虐待を受けた児童が増え、生活場面で特別な配慮が求められることが多くなっている。心理職4人がわかば館1階の治療棟で入所児童全員を対象に、小学生は週1回、中学生は隔週1回、箱庭・遊戯療法の心理治療や心理教育プログラムを、高校生には随時、カウンセリングを行った。

また、非常勤の精神科医4人は児童との面談、カンファレンスへの出席、行事への参加など、多様な側面から児童との関わりを持った。児童の状態の見立てや療育方法についてのスーパーバイズを、加えて、職員との面談を通して職員のメンタルヘルスについてもアドバイスを受けた。

あおば館の男子小学生1人の心理治療を昨年度より継続して、わかば館の心理士によって実施し、性化行動に対する行動抑制とトラウマの軽減につながる取り組みにより、一定の治療効果が認められた。27年度も継続治療を実施する。

### (3) 家庭支援

児童一人一人のケアプランに従って生活指導、心理治療に当たっているが、生育歴など状況を調査検討するインテークを実施し家庭復帰に備えた。

被虐待児童が増えたことから、家族再統合に向け家庭支援専門員と生活担当職員が保護者支援にあたり、2人が社会自立をし8人が家庭復帰を果たした。

### (4) SST (ソーシャル・スキルズ・トレーニング)

児童が社会にうまく溶け込めるように具体的な社会行動を学ぶSSTを取り入れている。小、中学生男女4グループに分かれて起案から実施した。(スケート、料理、カラオケ) 児童同士が互いの長所を認め合い助け合ってやり遂げることができた。

### (5) 児童支援

中学を卒業し、高校へ進学した児童については、入学準備金などの公的な社会資源調整を図った。

医療機関との連携も密に行い、あいち小児保健医療総合センター(大府市)毎月1回10人、愛知医大(長久手市)1人、北津島病院1人がそれぞれ通院し治療効果を向上させた。同センターでの年1回の定期カンファレンス(援助検討会)と虐待ネットワーク会議4回には職員4-5人が参加、日々の療育、心理社会的治療に役立てた。

日々の取り組みでは、男子女子児童ともに、「わかばの暮らしをよくするためのルール作成実行委員会」を立ち上げ、実行委員を児童選挙で選出し日課について話し合い入浴時間などの見直しを行った。また、暴力についての解決方法を話し合った。

### (6) 職員研修

児童指導員、保育士、心理士、看護師17人が専門性の高い各分野の研修に参加。受講後は、職員会議でその成果を発表、情報共有に努めた。

中部ブロックの児童心理治療施設4施設との共同研修として心理部会を年3回、生活部会を年2回、持ち回りで開き、交流を深めながら具体的なケース

報告を指導にいかした。また、中部ブロック職員研修運営委員会には大嶋心理士の退職に伴い、伊藤指導員が研修運営委員を引き継ぎ活動した。

### (7) 実習生

実習生受け入れでは、保育士実習で大学生35人が8-10日間と、社会福祉士実習で10人の学生が15日間に4人と24日間に6人、合わせて45人(延べ426日間)の実習を行った。

### (8) 学習

公文での算数に取り組んでおり、中学生12人が週3日、日本公文教育研究会主任研究員の年3回の巡回指導をはじめ、担当職員、ボランティアのアドバイスを受けながら学んだ。ボランティアが高校受験に向けて中学3年生女子3人と、高校生女子1人に大学の英語の先生が家庭教師のスタイルで学習指導を実施し、成績向上につながり目標とする3部制の保育士養成の大学に推薦入学を果たした。

### (9) 生活訓練

家庭復帰や就職しての寮生活に向け家族療法室を使い、買い物、調理、洗濯など日常生活を体験したりバス、地下鉄の切符を自分で購入する外出のほか、児童がスーパーで材料を購入、自分たちで料理やお菓子を作った。「ドッグヒーリング」による動物介在療法を取り入れ、小学生を中心に犬との温かい触れ合いを通して、癒し効果と待つことや相手に合わせることを学ぶことができるようになってきた。

### (10) スポーツ活動

愛知県児童福祉施設入所児童夏季球技大会(県児童福祉施設長会主催)では、ソフトボール1部に1チーム参加し初戦突破の健闘を見せた。卓球団体戦に1チーム、個人戦に9人が参加し、ベストを尽くしてよく頑張った。

親善マラソンには9人が参加し、全員が完走を果たした。

また、今年度サッカー交流会には参加せず、フットサル大会のみの参加となり、小、中、高校生6人が参加し10チームのなかで、同率3位と健闘した。

### (11) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「福祉人材育成」「教員養成介護体験」「福祉避難所」「保育実習受け入れ」「保護者支援活動」の5項目で5ポイントを上げた。

### (12) その他

昨年引き続き基幹的職員の課長が、日進市障害者基本計画等策定・評価委員会に委員として、障害者基本計画、障害福祉計画の策定・見直しとその進捗の点検・評価に加わった。

また、指導課長、主任指導員の2人が名古屋市立の高校の生徒・保護者・教員に対する発達障害を含む障害とそれらに対する支援のため助言、啓発活動を実施しキャリア教育・就労支援事業に貢献した。

家庭支援専門相談員の係長が日進市の要保護児童対策会議に出席し、地域の要保護児童の現状の把握と意見交換を行った。

あおば館の児童が通学する地元の男子高校生が学園に頻繁に出入りするなかで、わかば館の女子中学生との接点が増えた。異性との接触を適切に保つため、スライド式の門扉を児童玄関前のアプローチに設置した。

## 中日青葉学園人員構成

### ▽職員構成・職員数（平成27年1月1日）

あおば館 (児童養護施設)	人員	担当職務
館長（学園長）	1	運営管理
指導療育部長（課長兼務）	1	統括（わかば館兼務）
事務長	1	事務統括（わかば館兼務）
指導係長	2	生活指導（統括）
主任指導員	2	生活指導
指導員・保育士	12	生活指導
心理士	2	心理治療（生活指導）
事務員	1	経理事務（生活指導兼務）
栄養士	1	栄養管理
給食係	4	給食実務
嘱託医	1	健康診断
看護師（非常勤）		健康管理
非常勤・パート	4	生活指導補助、心理治療、幼児教育
小計	32	
わかば館 (情緒障害児短期治療施設)	人員	担当職務
館長	1	運営管理
医師（非常勤）	5	医療業務
指導課長	1	指導統括
指導係長	1	生活指導（統括）
主任指導員・保育士	2	生活指導
指導員・保育士	6	生活指導
看護師	1	健康管理
主任心理士		心理統括（生活指導）
心理士	4	心理治療（生活指導）
事務係長	1	経理事務
給食係	4	給食実務
非常勤・パート	3	生活指導補助
小計	29	
合計	61	

### ▽児童数（平成27年3月1日）

施設別	性別	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
あおば館	男子	4	15	10	9	1	39
	女子	5	9	5	7		26
わかば館	男子		6	4	3	1	14
	女子		6	8	1		15
計		9	36	27	20	2	94

## 中日青葉学園主な出来事

開催日	事業名
4月4日	日進中学校入学式(10人)
7日	北小学校入学式(1人)
25日	青葉分校スポーツフェスティバル
29日	卒園生、退職職員交流の「第4回つつじの会」
5月3日	GW外出イチゴ狩り
4日	GW名古屋市内
6日	GW外出名古屋港水族館
23日	JA南紀柑橘類寄贈
29日	社会事業団理事会で25年度決算・事業報告承認
6月4日	中部児童養護施設協議会三重大会参加
7日	青葉スポーツ大会、ボランティア活動
21日	児童健康診断
25日	職員研修1班あいさんテラス見学(2班は7月9日)
7月3日	熱中症・食中毒対策など園内研修
12、13日	目的別活動A幼児高鷲
18日	救命救急講習会
22、23日	目的別活動B郡上
24、25日	目的別活動C若狭の海
31日	目的別活動D信楽(8月1日まで)
8月2日	あおば館劇団飛行船招待
4日	高校生交流会Ⅰ部参加
8日	社会事業団理事会で理事長交代
18日	施設長会ソフトボール大会参加
20日	施設長会卓球大会参加
25、26日	目的別活動E知多半島
27、28日	高校生交流会Ⅱ部参加
29日	ボウリング招待、わかば館夏祭り
9月13日	焼肉パーティ
18日	日進中学校体育大会
24日	児相施設支援検討委員会職員研修
27日	北小学校運動会

- 10月 8日 県指導監査  
 11日 ベタニヤ幼稚園運動会  
 25日 第18回青葉まつり、USJ招待
- 11月 2日 地域合同防災訓練  
 3日 サッカー交流会あおば館優勝  
 9日 日進市健康福祉フェスティバルに出展  
 13日 北小学校学習発表会  
 19日 白山宮へ七五三参り  
 23日 音楽の集い長久手大会に参加  
 28日 フレベールケーキ作り
- 12月 3日 夜間避難訓練  
 6日 NFDクリスマスリース教室  
 13日 中日森友隊園内整備  
 22日 ライオンズクラブを迎えてクリスマス会  
 23日 名古屋スポーツセンタースケート招待  
 25日 フットサル大会わかば館3位  
 30日 餅つき大会
- 1月 1日 猿投神社初詣  
 17、18日 伊那スキー村に参加  
 19日 竹の子会理美容奉仕
- 2月 1日 親善マラソン大会に参加  
 3日 寿し正さんの恵方巻き  
 5日 金城学院大原教授の退園生調査報告  
 6日 税理士外部監査  
 14日 わかば館ナガシマスパーランド  
 16日 さくらあんぱんまんミュージアム  
 22日 テーブルマナー教室
- 3月 5日 日進中学校卒業式(8人)  
 14日 あおば館2階USJ、3階イチゴ狩りなど  
 20日 北小学校卒業式(12人)、UFJ銀行ライフプランセミナー  
 21日 巣立ちの会・お別れパーティ、ベタニヤ幼稚園卒園式(3人)  
 26日 いちご動物園来園  
 27日 事業団理事会で26年度補正予算、平成27年度事業計画・予算承認

## 主な行事の写真



北小入学式(4月4日)



JA南紀柑橘類寄贈(5月23日)



青葉スポーツ大会(6月7日)



目的別活動A 幼児高鷲(7月12日)



救命救急講習会(7月18日)



目的別活動B 郡上(7月23日)



目的別活動C 若狭の海(7月25日)



目的別活動E 知多半島(8月25日)



日進中学校体育大会(9月18日)



第18回青葉まつり(10月25日)



サッカー交流会(11月3日)



北小学校学習発表会(11月13日)



クリスマス会(12月22日)



スケート招待(12月23日)



親善マラソン大会(2月1日)



寿し正さん恵方巻き(2月3日)



日進中学校卒業式(3月5日)



USJ旅行(3月14日)



イチゴ狩り(3月14日)



巣立ちの会(3月21日)

# 高額寄付(一般)

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
YOU倶楽部	名古屋市	五月会	名古屋市
(株)にぎわいファクトリー名古屋	名古屋市	名城大学付属高等学校生徒会	名古屋市
愛知日産自動車(株)	名古屋市	(株)真城ホールディングス	名古屋市
愛知県美容業生活衛生同業組合	名古屋市	中部日本書道会	名古屋市
後藤新治	春日井市	加藤等	名古屋市
ネットトヨタ東海(株)	名古屋市	名古屋中ロータリークラブ	名古屋市
名古屋競馬(株)	名古屋市	豊川閣妙巖寺 豊川稲荷	豊川市
庄内川ゴルフ倶楽部	名古屋市	安藤正明	名古屋市
税理士法人 のぞみ	名古屋市	(株)京ヶ野ゴルフ倶楽部	名古屋市
第一貨物労働組合	山形市	協栄興業(株)	東海市
中央電気工事(株) 電友会	名古屋市	協栄会 協友会	東海市
加藤好章	刈谷市	松本三良記念 福祉会	東海市
ミッドランド税理士法人アライアンス	岡崎市	昼川三津男	刈谷市
愛知県ボウリング場協会	稲沢市	碧海信用金庫 碧友会	安城市
知多信用金庫	半田市	東郷産業(株)	名古屋市
(株)トーエネック	名古屋市	国際ソロプチミスト名古屋	名古屋市
鞍馬山別院 弘恵寺	豊田市	デポー(株)	海津市
稲沢市職員互助会	稲沢市	ナゴヤアドベンチャーマラソン	名古屋市
岡崎美術協会	岡崎市	近藤産興(株)	名古屋市
あいち知多農業協同組合	常滑市	伊藤富雄	名古屋市
トヨタカローラ愛知(株)	名古屋市	愛知県柔道整復師会	名古屋市
大日本アガ(株)	名古屋市	岡崎市六ツ美商工会青年部	岡崎市
日本丸八クラブ	名古屋市	東海税理士会ゴルフ同好クラブ	豊橋市
トヨタ紡織 係長会	刈谷市	尾西作家協会 河出幸之助	一宮市
トヨタ紡織 職長会	刈谷市	黒野清宇	名古屋市
新東工業(株)	名古屋市	愛知県中古自動車販売商工組合	飛鳥村
名古屋トヨペット(株)	名古屋市	(株)丸栄	名古屋市
名古屋千種ロータリークラブ	名古屋市	高田中等高等学校生徒会	津市
名古屋福祉チャリティーゴルフ	名古屋市	桜花学園高等学校	名古屋市
藤田保健衛生大学病院	豊明市	愛知県経済農業協同組合連合会	名古屋市
名古屋青年会議所 木羊会・悠々会	名古屋市	三重すし街道・相可高校調理クラブ	津市
(社)愛知県LPガス協会	名古屋市	石川町子	名古屋市
創研会	名古屋市	愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市

## 高額寄付(一般)

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)敬称略、順不同

北陸支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
KDDI(株)	金沢市	こばと保育園・第2保育園	小松市
新金沢郵便局管内匿名	金沢市	新金沢郵便局管内匿名	金沢市
新金沢郵便局管内匿名	金沢市		

東海支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
竹林寺 手作りバザーの会	浜松市	(株)ミダック	浜松市
第33回ふるさと知名人チャリティー色紙展	浜松市	浜松倉庫株式会社	浜松市
浜松現代書作家展	浜松市	アベル株式会社	浜松市
浜松仏教会	浜松市	株式会社佐野 善行の会	袋井市
静岡第三同志会	袋井市		

東京支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
「小さな親切」運動ちばぎん支部	千葉市		

岐阜支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
岐阜県歌謡研究会	岐阜市	やまと葬祭	土岐市
(株)ワールドボディー	関市	岐阜信用金庫	岐阜市
高橋昌詩	新座市	国際ゾンタ26地区エリア2岐阜クラブ	岐阜市
匿名	岐阜市	NTT岐阜グループボランティアサークルひまわり	岐阜市
岐阜県ミセスフォークダンス協会	岐阜市	全日本ロータス同友会岐阜県支部	岐阜市

## 高額寄付(指定)

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
(株)今仙電機製作所	犬山市	広島土砂災害義援金
(株)フコク東海	名古屋市	広島土砂災害義援金
伊藤富雄	名古屋市	広島土砂災害義援金
トヨタホーム愛知(株)	名古屋市	広島土砂災害義援金
中部鋼鉄(株)	名古屋市	広島土砂災害義援金
熊谷電工(株)	彦根市	広島土砂災害義援金
(株)プレジェイール	蟹江町	広島土砂災害義援金
(株)真城ホールディングス	名古屋市	広島土砂災害義援金
(株)江口巖商店	名古屋市	広島土砂災害義援金
(株)エクチ	名古屋市	広島土砂災害義援金
名西運輸(株)	飛鳥村	広島土砂災害義援金
中日ドラゴンズ選手会	名古屋市	広島土砂災害義援金
愛知県更生保護女性連盟	名古屋市	広島土砂災害義援金
(株)IEC	名古屋市	広島土砂災害義援金
志段味商工振興会	名古屋市	広島土砂災害義援金
豊田合成労働組合	稲沢市	広島土砂災害義援金
(株)フィールコーポレーション	名古屋市	広島土砂災害義援金
吉田病院	名古屋市	広島土砂災害義援金
渡辺登美子	知立市	広島土砂災害義援金
(株)リカーマウンテン	京都市	東日本復興支援金
伊藤美佐子	知立市	東日本復興支援金
日本システム開発(株)	名古屋市	東日本復興支援金
東海地区プロボウラーズ選手会	一宮市	東日本復興支援金
川北電気工業(株)	名古屋市	東日本復興支援金
東海学園高校生徒会	名古屋市	東日本復興支援金
住友生命保険相互会社名古屋支社	名古屋市	東日本復興支援金
(株)アサヒハウジング	日進市	東日本復興支援金
むすび合う・しおの道 チャリティーコンサート実行委員会	豊田市	東日本復興支援金
おおやま歯科医院 大山吉徳	名古屋市	たすけあい名古屋ほか
桑名石取祭保存会	桑名市	あしなが育英会震災遺児支援
(株)豊田自動織機	刈谷市	大相撲名古屋場所招待
名古屋溜会	名古屋市	大相撲名古屋場所招待
徳弘妙子	名古屋市	中部盲導犬協会
石川町子	名古屋市	中部盲導犬協会
アントニオ古賀とゆかいな仲間	名古屋市	中部盲導犬協会
セントポーリアの会	日進市	国連難民高等弁務官事務所

# 高額寄付(指定)

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
福島厚子	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知日野自動車(株)親和会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
三重県自動車会議所	津市	東海交通遺児を励ます会
愛知県中古自動車販売商工組合	飛島村	東海交通遺児を励ます会
成田山名古屋別院大聖寺	犬山市	難病者激励金
犬山成田山索の会	犬山市	難病者激励金
西浦不動無量寺	蒲郡市	愛知県健康づくり振興事業団
愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	脳外傷友の会みずほ
名古屋栄ライオンズクラブ	名古屋市	日本介助犬協会
今枝久美子	名古屋市	中日青葉学園
(株)安藤産業	名古屋市	中日青葉学園
水谷寿々子	名古屋市	中日青葉学園
中日新聞印刷(株)	名古屋市	中日青葉学園
(株)服部工務店	名古屋市	中日青葉学園

※東日本大震災義援金指定の高額寄託者は、多数のため省かせていただきました

## 高額寄付(指定)

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)敬称略、順不同

北陸支部 (10万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
羽咋市消防団第一分団	羽咋市	広島土砂災害義援金
新金沢郵便局管内匿名	金沢市	広島土砂災害義援金

東海支部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
株式会社エフ・シー・シー	浜松市	広島土砂災害義援金
株式会社ユタカ技研	浜松市	広島土砂災害義援金
平野建設株式会社	磐田市	広島土砂災害義援金
湖西市議員互助会	湖西市	広島土砂災害義援金
野中芳雄	浜松市	広島土砂災害義援金
鈴木勇、斐子	浜松市	広島土砂災害義援金
静岡県カラオケBOX協会	浜松市	広島土砂災害義援金
ネットヨタ浜松株式会社	浜松市	交通遺児義援金
ユタカ技研労働組合	浜松市	伊豆大島豪雨災害義援金

東京支部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
匿名	さいたま市	たまきはる福島基金
ボーイスカウト東京連盟台東第7団	台東区	長野県神城断層地震
匿名	豊島区	広島土砂災害
匿名	川崎市	広島土砂災害
中日新聞社東京本社広告局お見舞い広告	千代田区	広島土砂災害
小杉 直久	大田区	広島土砂災害
匿名	笠間市	東日本復興支援

※東日本大震災義援金指定の高額寄託者は、多数のため省かせていただきました

# 高額寄付(指定)

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)敬称略、順不同

岐阜支部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
各務貞三	岐阜市	広島土砂災害
梅田徐男	北方町	広島土砂災害
八百津町議会議員互助会	八百津町	広島土砂災害
八百津町役場職員親友会	八百津町	広島土砂災害
パテシエール アキコ	多治見市	広島土砂災害
フォームステェイ岐阜	本巣市	フィリピン台風災害
GIFUクラフトフェア	岐阜市	東日本復興支援
中日ドラゴンズチャリティーオークション	岐阜市	東日本復興支援
TSON	名古屋市	長良川球場野球招待
(財)岐阜社会福祉事業協力会	岐阜市	岐阜県内社会福祉施設(種苗)
中日新聞岐阜販売店会	岐阜市	岐阜県内社会福祉施設(種苗)

※東日本大震災義援金指定の高額寄託者は、多数のため省かせていただきました

社会福祉法人 **中日新聞社会事業団**

	所 在 地
本 部 事 務 局	〒460-8511 名古屋市中区三の丸一丁目6番1号 中日新聞名古屋本社内 Tel. 052-221-0580 Fax. 052-221-0839
北 陸 支 部	〒920-8573 石川県金沢市駅西本町二丁目12番30号 中日新聞北陸本社内 Tel. 076-233-4644 Fax. 076-233-7831
東 海 支 部	〒435-8555 静岡県浜松市東区薬新町45番地 中日新聞東海本社内 Tel. 053-421-6217 Fax. 053-421-5987
東 京 支 部	〒100-8505 東京都千代田区内幸町二丁目1番4号 中日新聞東京本社内 Tel. 03-6910-2520 Fax. 03-3503-1438
岐 阜 支 部	〒500-8875 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地 中日新聞岐阜支社内 Tel. 058-265-0283 Fax. 058-263-7010
児童養護施設・情短施設 中日青葉学園	〒470-0131 愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164 Tel. 0561-72-0134 Fax. 0561-74-2315